# 令和６年度

# 鹿嶋市　重点施策ロジックモデル

## 【令和６年当初面談による実施】

政策企画部政策推進課

**DX・行革推進室**
**政策の断捨離**

**投入**

（情　報）
政　策
事　業
業　務

**活動**

【DX・行革推進室】
政策，事業，業務の検証を各部署へ依頼する

【担当部署】
対象事業の目的，必要性，費用対効果を測定・検証する

【DX・行革推進室】
・一財充当上位２０事業(予算・決算)
・出資団体運営状況
・地区別税収入及び投資額
上記を整理する
（財務は毎年，団体分析は要否判断しながら定期的に実施）

【政策推進課・DX・行革推進室・担当部署】
・ロジックモデルによる政策分析を行う
（24事業）
・業務フローの洗い出しを身に付ける。
（Ｒ５年度はDX推進員（６グループ27名）を対象に，実際の業務を事前課題で選定し，業務フローの見える化作業を研修）

【担当部署】
エビデンスに基づき
・中心政策、事業、業務の特定
・補助的な政策、事業、業務の特定
・効果が薄い事業の特定
・ＤＸ技術の活用による改善策
について整理する

【担当部署，DX・行革推進室，政策推進課，財政課】
提案抽出，財務，ロジック各取組も整理しながら「断捨離予定事業」を特定する

【担当部署】
関係者と調整を行う

意見聴取

【担当部署・財政】
予算を調整する

**事業成果**

**産出**

【DX・行革推進室】
・一財充当上位２０事業
・出資団体運営状況
・地区別税収及び投資額
上記が明示され，現状を把握しやすくなる

【担当部署】
事業・団体・地区別収入及び投資の概要の「見える化」が推進される

【担当部署】
全庁で業務プロセスの「見える化」による業務改善意識が高まる

ＫＰＩ

【担当部署】
「政策，事業，業務」を断捨離する

【担当部署】
・効果が低い（将来性が低い）政策、事業、業務の廃止、削減、変更がされる
・全庁的な財政上の制約による政策の見直しが進む
・無駄な業務が廃止される

**直接成果**

【市】
事業・団体・地区別収入及び投資の概要の「見える化」が推進される

【市】
全庁で業務プロセスの「見える化」による業務改善意識が高まる

・市の財源確保がされる
・全庁的に事業の優先順位づけや事業実施の工夫が進む

**中間成果**

【市】
事業・団体・地区の状況の経年変化の把握により、それぞれの状況及び位置づけが明らかとなる

【担当部署】
事業・団体・地区の将来予測が容易となり、それぞれの方向性が確立される

【担当部署】
【DX行革推進室】
業務改善の協議・相談が増加する
（令和5年度）
各所属協議：14件
DX・行革推進室独自取組：9件

【市】
業務改善が進み，効率的な業務運営が図られる
（令和5年度）
改善実施：17件
継続検討： 4件
検討保留： 2件

市の組織再編、政策の制度、ルールの再編が適切に行われる

市職員のマンパワーが適切に配され、事業の充実が図られている

ＫＰＩ
市の地方債残高が減少する

市のプライマリーバランスが適正な水準に保たれる

市で地方債の繰り上げ償還が可能となる

・市が効果の高い政策や事業への再投資を行う
・市の新しい政策の展開が進む

市の余剰金(基金)が捻出されている

**最終成果**

市で「事業の選択と集中による財政運営」が進む

【DX・行革推進室】
積極的な提案のため事前周知も徹底しながら「行財政改革取組み市長表彰対象事業」及び「職員提案」の推薦依頼を行う

「無理・無駄・ムラ」
➤「やめる、へらす、かえる（見える化）」の継続したアナウンス

【担当部署・個人】
各種事業について目的，必要性，費用対効果等について測定・検証し、対象事業を特定する

（行革　市長表彰）
【政策調整員会議・市長】
特定された事業の目的，必要性，費用対効果を測定・検証し評価する

【市　長】
選定された事業を市長が表彰する

（職員提案）
【担当部署次長】
特定された事業の目的，必要性，費用対効果を測定・検証し評価する

【所属長等】
プロセス評価において提案者を評価する

【全庁職員】
取組・評価結果を全庁で共有することで，庁内において横展開が図られる。

【担当部署】
「やめる、へらす、かえる（見える化）」意識が醸成される

担当部署において、適切な事業設計が行われる

【総合計画】
人生100年を支える舞台を「鹿嶋」に整える
スマート＆コンパクトな鹿嶋をつくる
スマートで持続可能なまちをつくる

【市長政策】
無理・無駄。ムラ＝やめる、へらす、かえる（見える化）

| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 2021年度末 | 2024年3月末 | 目標値 |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 地方債の残高 | 174.8億円 | 160.8億円 | 139.5億円 |

| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 2021年度末 | 2024年3月末 | 目標値 |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 事務事業の断捨離 | 19事業 | 廃止　10事業<br>縮小　5事業<br>継続検討　3事業<br>方針見直し　1事業（現状維持） | 廃止　11事業<br>縮小　8事業 |

※目標値を超えて断捨離を行った場合は，実績値を積み上げていくこととする。

施策4-2　未来につながる産業を創出する
施策の方向性　（2）スポーツを核とした地域経済の活性化
取組　③スポーツ・賑わい拠点の創出

市長政策事業　**新サッカースタジアム周辺整備**

総合戦略指標　**カシマサッカースタジアムエリア構想の策定**
（現状値：2021年度末）－　→　（目標値：2026年度末）策定済

**活動**

**スタジアム周辺整備推進室**

スタジアム協議会における協議
意見聴取

広域課題の検討
現スタジアムの在り方検討
交通渋滞対策等の検討
レガシー検討
維持管理費の精査

**スタジアム及び周辺エリア構想を策定する**
総合戦略指標

施設規模検討
公共施設集約検討 ※図書館，体育施設，
事業スキーム検討 ＊負担付寄附,PFI,,,
資金調達方法検討 ＊企業版,CF..
周辺活用方針検討
共創型プラットフォーム検討

活動の具体例
他スタジアム等視察
周辺に立地すべき公共施設の洗い出し，移転・集約等に係る庁内意見集約
募金団体設立有無の検討
市民等アンケート調査 ANTパートナー企業アンケート調査
周辺まちづくり事例調査
法規制等の確認及び対応方法調査

**産出 (output)**

新スタジアム周辺エリア構想が策定され，各方向性が明確になる

**直接成果**

公共施設集約によるメリットが整理される
市が地区計画を策定し，事業用地が開発可能な状態になる
民間企業の参入機運が高まる
共創型プラットフォームが形成される
意見聴取

**中間成果**

行政が庁内及び利用者の意見徴収を行い，集約の方向性が決まる
ANTが鹿嶋に新スタジアムを建設する ※シビックプライドが維持される
民間企業から寄附（ふるさと納税,CF）が集まる
共創型PFが主導し，地域課題解決に向けた実証実験・実装を行う
モビリティ事業者が渋滞解消のために共創型PFに参画する

行政が周辺エリアに公共施設を集約する
賑わい
民間企業が周辺エリアに進出する
経済
交通事業者が周辺エリアでの採算性を検討する
賑わい　経済

キーワード
スポーツ
エンタメ
健康
交流
医療
イノベーション
教育

日常・非日常問わず人が集まるエリアになる
周辺エリアの2次交通が発達する

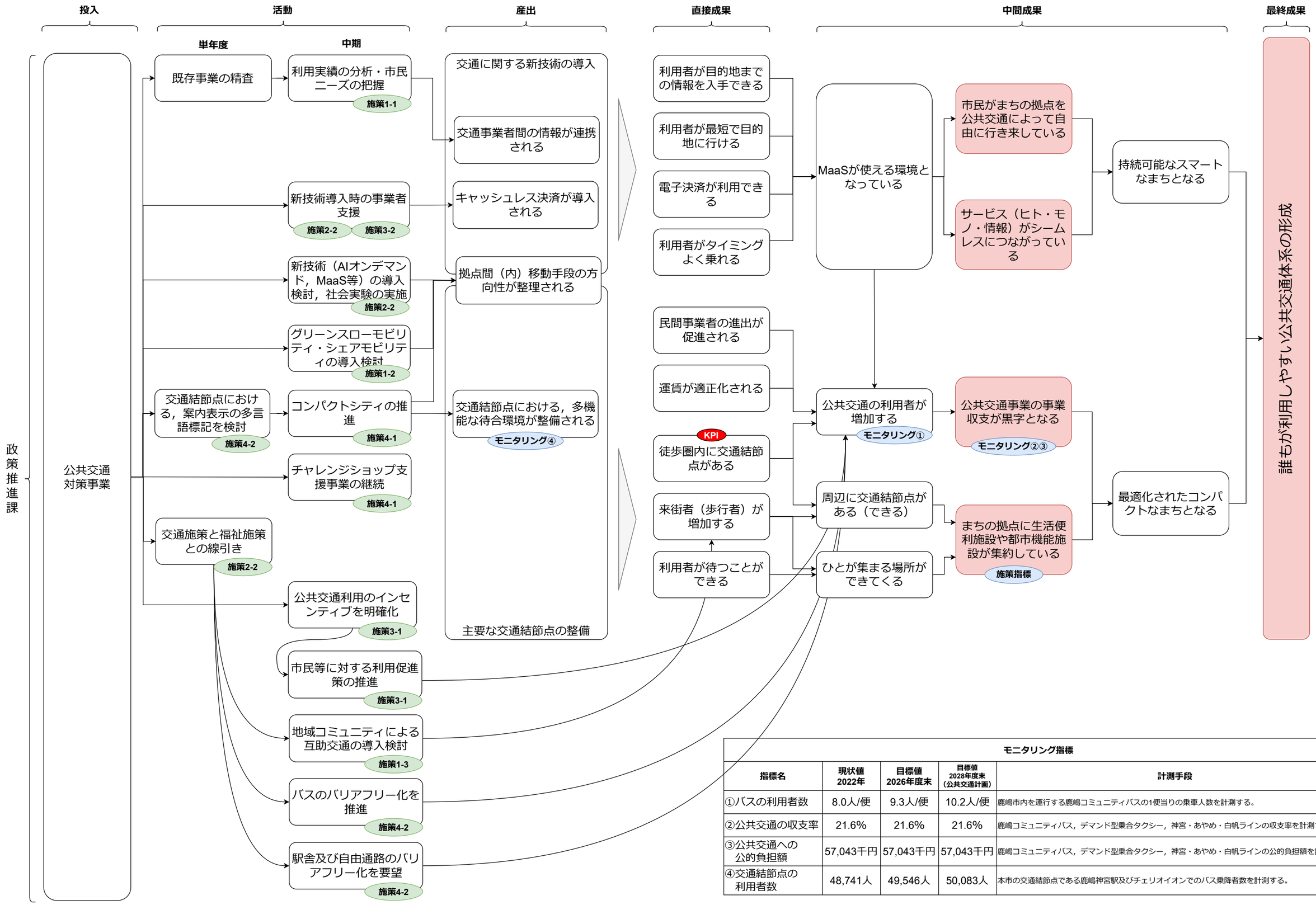
**最終成果**

新スタジアム周辺エリアにおいてにぎわいが創出され，地域経済が活性化している

施策1-1　地域公共交通計画における施策・事業

**施策５－１　コンパクトで安全なまちをつくる**
**施策の方向性　（２）効率的・効果的なネットワークづくり**
**取組　②誰もが利用しやすい公共交通体系の形成**

| 指標名 | 現状値 2021年度末 | 目標値 2026年度末 | 指標 | 計測手段 |
|---|---|---|---|---|
| 市街化区域内及び大野三駅周辺の人口 | 39,200人 | 39,200人 | 施策指標 | 国勢調査・常住人口調査等によりエリア内の人口を集計する。 |
| 市内公共交通カバー率 | 100% | 100% | KPI | 市内の公共交通圏域（駅1㎞，バス停300m圏域）の人口カバー率を計測。デマンド型乗合タクシーが，ドアtoドアのサービスであるため，100%となる。 |




**モニタリング指標**

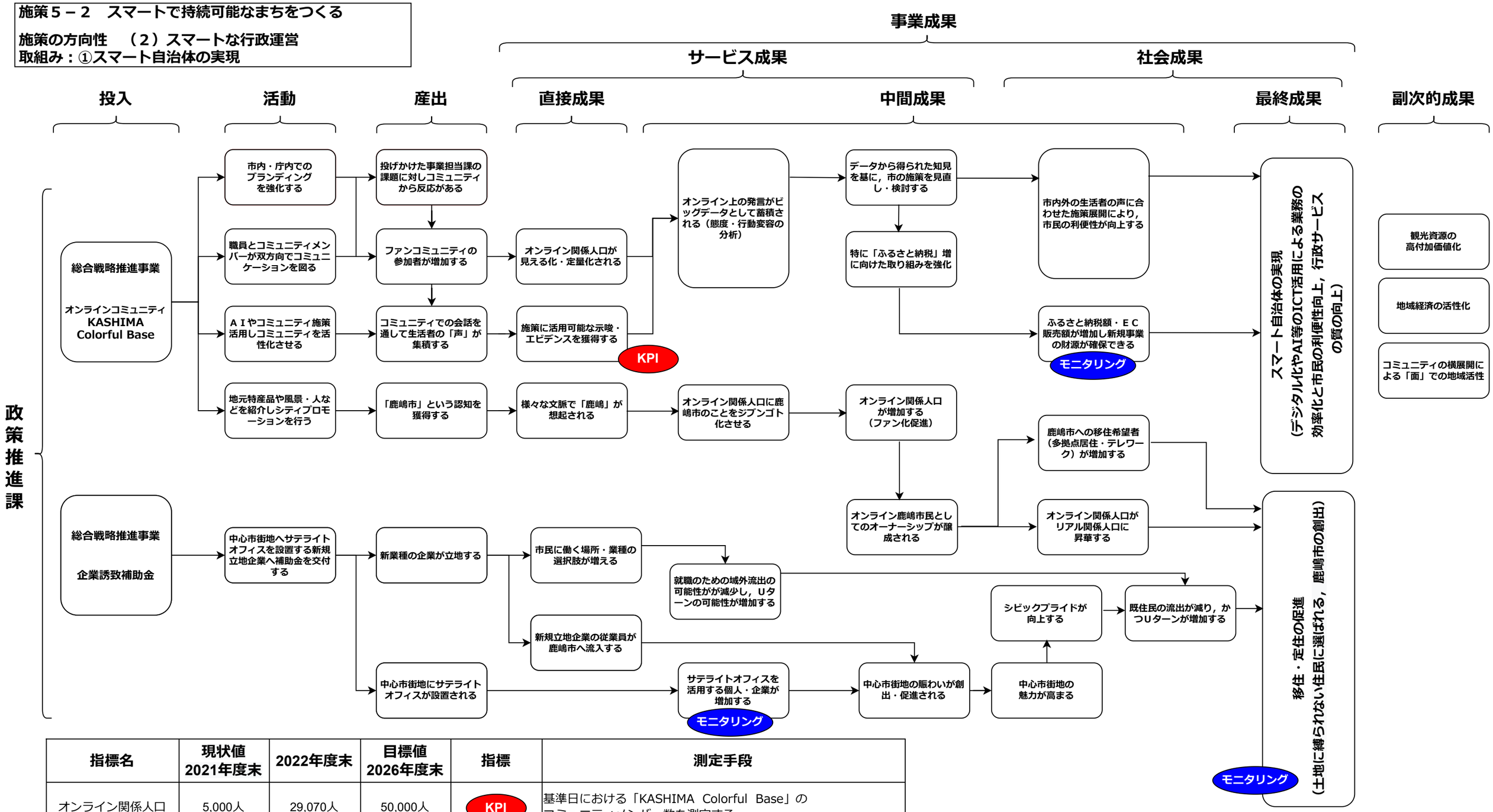
| 指標名 | 現状値 2022年 | 目標値 2026年度末 | 目標値 2028年度末（公共交通計画） | 計測手段 |
|---|---|---|---|---|
| ①バスの利用者数 | 8.0人/便 | 9.3人/便 | 10.2人/便 | 鹿嶋市内を運行する鹿嶋コミュニティバスの1便当りの乗車人数を計測する。 |
| ②公共交通の収支率 | 21.6% | 21.6% | 21.6% | 鹿嶋コミュニティバス，デマンド型乗合タクシー，神宮・あやめ・白帆ラインの収支率を計測する。 |
| ③公共交通への公的負担額 | 57,043千円 | 57,043千円 | 57,043千円 | 鹿嶋コミュニティバス，デマンド型乗合タクシー，神宮・あやめ・白帆ラインの公的負担額を計測する。 |
| ④交通結節点の利用者数 | 48,741人 | 49,546人 | 50,083人 | 本市の交通結節点である鹿嶋神宮駅及びチェリオイオンでのバス乗降者数を計測する。 |

**施策１－２　多様なライフスタイルを応援する**

**施策の方向性　（２）多様な働き方・暮らし方の実現**
**取組み：①移住・定住の促進**

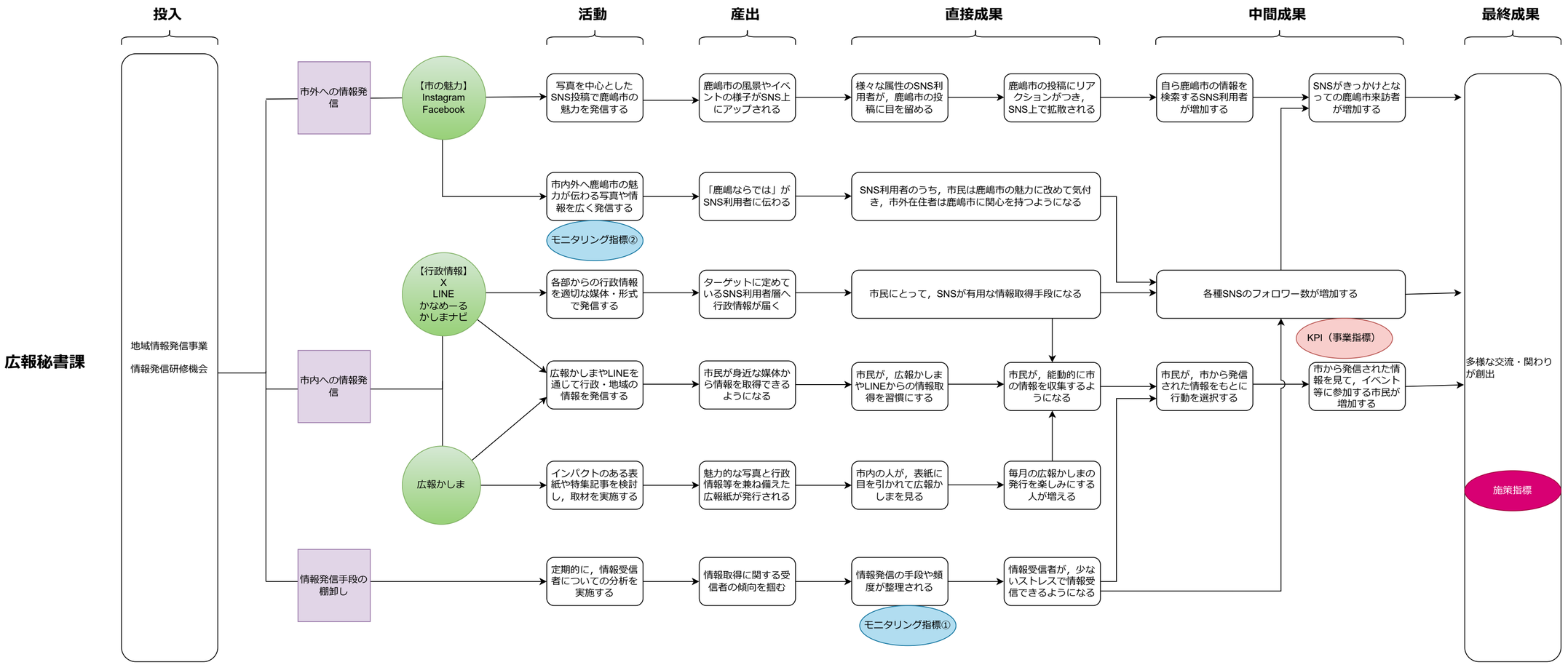
**施策５－２　スマートで持続可能なまちをつくる**

**施策の方向性　（２）スマートな行政運営**
**取組み：①スマート自治体の実現**




| 指標名 | 現状値<br>2021年度末 | 2022年度末 | 目標値<br>2026年度末 | 指標 | 測定手段 |
|---|---|---|---|---|---|
| オンライン関係人口 | 5,000人 | 29,070人 | 50,000人 | KPI | 基準日における「KASHIMA　Colorful　Base」の<br>コミュニティメンバー数を測定する |
| ColorfulBaseきっかけの<br>ふるさと納税 | 0件<br>0円 | 99件<br>1,580,303円 | ― | モニタリング | ふるさとチョイスでの「ColorfulBaseきっかけ」ふるさと納税額を基準に，全てのプラットフォームの合計件数と金額を推計値として算出する（毎年1月～12月） |
| サテライトオフィス<br>利用者数（延べ）<br>県外在住者構成比 | ― | ― | 5,000人／年<br>30% | モニタリング | 基準日におけるサテライトオフィスの利用者数（延べ）を測定する<br>茨城県外の利用者数割合を計測する<br>※デジ田補助金ＫＰＩと一致 |
| 人口の社会増 | △155人／年 | △133人／年 | 2031年度<br>110人／年 | モニタリング | 基準日における社会増減を算定<br>※人数のほかに増減率の推移を確認する |

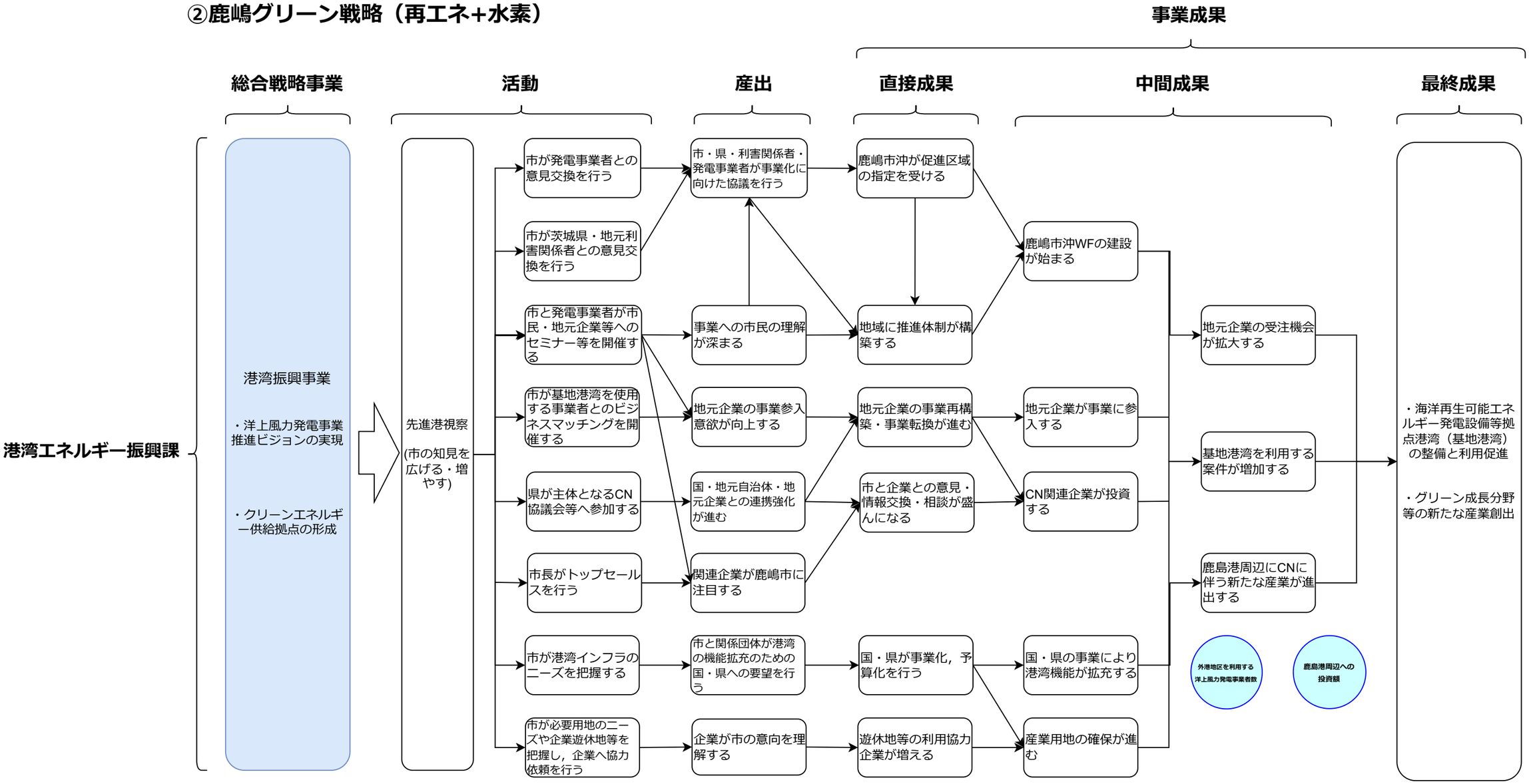
施策１－２　多様なライフスタイルを応援する
施策の方向性　多様な働き方・暮らし方の実現
取組み　多様な交流・かかわりの創出




| 指標名 | 2021年度末 | 2023年度末 | 目標値 | 指標 |
|---|---|---|---|---|
| 人口の社会増数 | -155人／年 | 1人／年 | 110人／年<br>（2031年度末） | 施策指標 |
| ＳＮＳ等フォロワー数 | 40,000人 | 56,385人 | 60,000人<br>（2026年度末） | KPI（事業指標） |
| 各種SNS（LINE，インスタ，フェイスブック，X）閲覧数 | | | 1,240,000件／年<br>（2026年度末） | モニタリング指標① |
| 各種SNS（LINE，インスタ，フェイスブック，Ｘ）情報発信回数 | | | 430回／年<br>（2026年度末） | モニタリング指標② |

## 戦略４　産業創出

**総合戦略事業名：港湾振興事業**
**市長政策事業名：①洋上風力ビジョンの推進**
**②鹿嶋グリーン戦略（再エネ+水素）**




鹿嶋市洋上風力発電事業推進ビジョン　戦略１：総合支援拠点の基盤をづくりと基地港湾機能の強化　戦略２：鹿嶋市・神栖市沖WFの形成

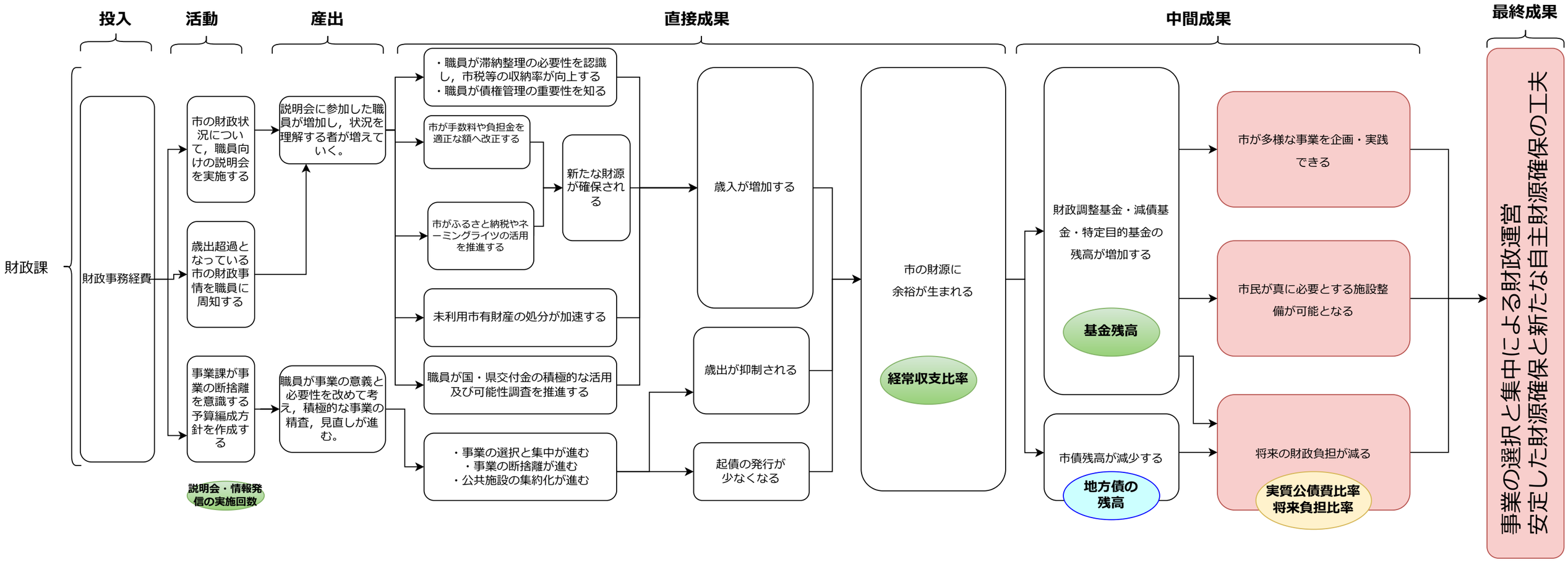
洋上風力産業ビジョン（第１次）　政府による導入目標の明示：洋上風力発電の導入目標を2030年までに1,000万kWの案件形成する。

鹿島港港湾脱炭素化推進計画　中期目標（2030年）：2013年比CO2排出量46%削減（削減量972万ｔ-CO2）。

**指標**

| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 目標値 |
|---|---|---|---|
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 鹿島港周辺への投資額<br>（固定資産税の評価額） | 263,200百万円／年 | 270,000百万円／年 |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 鹿島港外港地区を利用する<br>洋上風力発電事業者数 | 0事業者 | 1事業者 |

**施策5-2　スマートで持続可能なまちをつくる**
**施策の方向性　（1）持続可能な財政運営**
**取組　②事業の選択と集中による財政運営**




## 将来負担比率　算出式

| | | |
|---|---|---|
| 将来負担額(A)ー充当可能財源等(B)<br>標準財政規模(C)ー参入公債費等(D) | ⇨ | 6,169,483<br>13,882,812 |
| 44.4% | | |
| （A）<br>将来負担額<br>24,839.502 | 地方債の現在高　：17,172,315<br>公営企業債等繰入見込額　：　4,157,880<br>組合負担等見込額　：　760,076<br>退職手当負担見込額　：　2,744,695<br>設立法人の負債額等負担見込額：　4,536 | |
| （B）<br>充当可能財源等<br>18,670,019 | 充当可能基金　：　5,861,046<br>充当可能特定歳入　：　137,785<br>基準財政需要額算入見込額：12,671,188 | |
| （C）<br>標準財政規模 | 15,150,082 | |
| （D）<br>算入公債費等 | 1,267,960 | |

## 経常収支比率　算出式

| | |
|---|---|
| 経常経費充当一般財源<br>経常一般財源等 | |
| 91.1% | |
| 経常経費充当一般財源 | 12,934,984 |
| 経常一般財源<br>・地方税<br>・地方譲与税<br>・利子割交付金<br>・配当割交付金<br>・地方消費税交付金<br>・普通交付税<br>等 | 14,201,380<br>（内臨時財政対策債）<br>86,900 |

## 指標

| 現状値　→　目標値 | | 現状値<br>2022年度末 | 目標値 | 2022年度　全国平均<br>（類団平均，県内平均） |
|---|---|---|---|---|
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 将来負担比率 | 44.4% | 80% | 8.8%<br>（12.7%，22.4%） |
| | 実質公債費比率 | 6.4% | 7.3% | 5.5%<br>（6.6%，6.4%） |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 地方債の残高 | 160.9億円<br>（2023年度末） | 180億円 | ー億円<br>（299.7億円，260.6億円） |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 基金残高<br>（財調，減債，特目） | 27.7億円<br>（2023年度末） | 38億円 | ー億円<br>（108.0億円，80.2億円） |
| | 財政調整基金残高 | 17.7億円<br>（2023年度末） | 28億円 | ー億円<br>（43.5億円，34.2億円） |
| | 経常収支比率 | 91.1% | 86.2% | 92.2%<br>（91.0%，91.6%） |
| | 説明会・情報発信の実施 | ー | 5回/年 | ー |

施策５－２：スマートで持続可能なまちをつくる

施策の方向性：（１）持続可能な財政運営

⑤職員の人財育成と定員，給与の適正化 ）

# 人事課：職員研修経費

**投入**

- 職場外研修
  - 自己啓発支援
  - 職場内研修
  - 階層別研修
  - 実務研修
  - 特別研修
  - 派遣研修

**活動**

- 通信教育受講助成
- 資格取得支援
- 自主研修助成
- 自己啓発休業制度運用
- OJTの実践
- 職場研修
- 新規採用（任用）職員研修
- 中堅職員研修
- 役職段階別職員研修（係長，補佐級，管理職等）
- 行政実務実践講座（法務，契約，財務，IT，接遇等）
- 専門研修（データ分析，実務専門研修等）
- キャリアデザイン研修
- 人事評価研修
- 目標管理研修
- メンタルヘルス研修
- ハラスメント防止研修
- 国・県・先進自治体職員講演会
- 国・県等機関実務派遣研修
- 先進地視察研修（海外，国内）
- 民間企業等派遣研修

**産出**

- 自己啓発に関する支援制度について情報提供が行われる。
- 職場内における研修が行われる。
- 階層別研修 受講率・満足度
  階層別に研修の機会が創出される。
- 実務に係る研修の機会が創出される。
- 特別研修 受講率・満足度
  職員が備えるべき能力の開発や知識の習得のための研修の機会が創出される。
- 派遣・視察による研修の機会が創出される。

**事業成果**

**直接成果**

- 勤務時間外に自己啓発する職員やグループに補助を出し，インセンティブを与える。
- 職員の公務に役に立つ知識や資格の取得に補助を出し，インセンティブを与える。
- 自己啓発する職員やグループに補助を出し，インセンティブを与える。
- 職員が自己啓発に専念できる環境を与える。
- 職員が現在の業務に直結する知識を習得している。
- 職員が業務の振り返りにより課題を見出し，それに対し上司等が指導できる。
- 公務員として必要な知識・心構え・態度等が養われる。
- 中堅職員がリーダーシップを発揮して仕事をする。
- 能力期の区分ごとに，求められる姿勢や能力が養われる。
- 実務に必要な職員のスキルが養われる。
- 職員が実務能力を開発するために受講したい研修等を希望することができる。
- 職員が具体的，かつ有効なキャリアをデザインする能力を身につけることができる。
- 職員が人事評価制度を理解し，適正な人事評価のスキルを身につけることができる。
- 職員が組織目標を基に，自らの仕事における課題を見つけ，上司と相談しながら目標を設定できる。
- 職員が話を聴く，又は悩みを話す能力が身に付く。
- 職員がハラスメントに関する正しい考え方や意識の定着が図られる。
- 職員が先進自治体の取組等について直接聴くことができる。
- 職員が国・県や先進自治体の取り組みを事務レベルで把握できる。
- 職員が民間企業等のノウハウを学び，公務分野以外の人脈を構築できる。

**中間成果**

- 職員の能力開発を後押しする多様な制度が提供されている。
- 職員が勤務時間外において，自己啓発に励もうという意識を持っている。
- 上司が，職員個々の能力開発をイメージしている。
- 先輩職員の指導により，職員の能力の向上が図られている。
- 職員が，自身に求められる能力，組織的使命を理解している。
- 中堅職員が後輩の見本となろうという意識を持っている。
- 研修受講延べ人数
  職員が，積極的に必要とする研修を受講している。
- 職員が，自分のキャリアを明確にし，目的を持って仕事をしている。
- 上司が正しい評価を行っている。
- 職員一人ひとりが主体的に課題を考え，周りの職員や上司と情報共有している。
- 職員が悩みを周りの職員や上司に相談できる等コミュニケーションが活性化される。
- 職員間でハラスメントを発生させない，許さないという共通認識が醸成される。
- 職員が国や他の自治体の施策の情報収集を常に行っている。
- 職員が民間や各種団体などを積極的に活用している。
- 自己啓発支援制度活用数
  職員が能力開発を後押しする制度を積極的に活用している。
- 上司が能力開発に積極的に関わっている。
- 周りに見習うべき職務に精通した先輩職員が多くいる。
- 職員が自身に必要な実務・技術能力の向上に励んでいる。
- 職員が自分のキャリア形成に必要な能力の向上に励んでいる。
- 職員同士や上司と部下がお互いを認め合っている。
- 所属長が部下からボトムアップされた課題から，組織目標を作り，職員全体で共有している。
- 職員の仕事に対するモチベーションが高い。
- 職員が市の状況や社会情勢から，先手で事業を展開している。
- 職員が市の有する財源や資源を最大限有効活用し，無駄を省いている。

**最終成果**

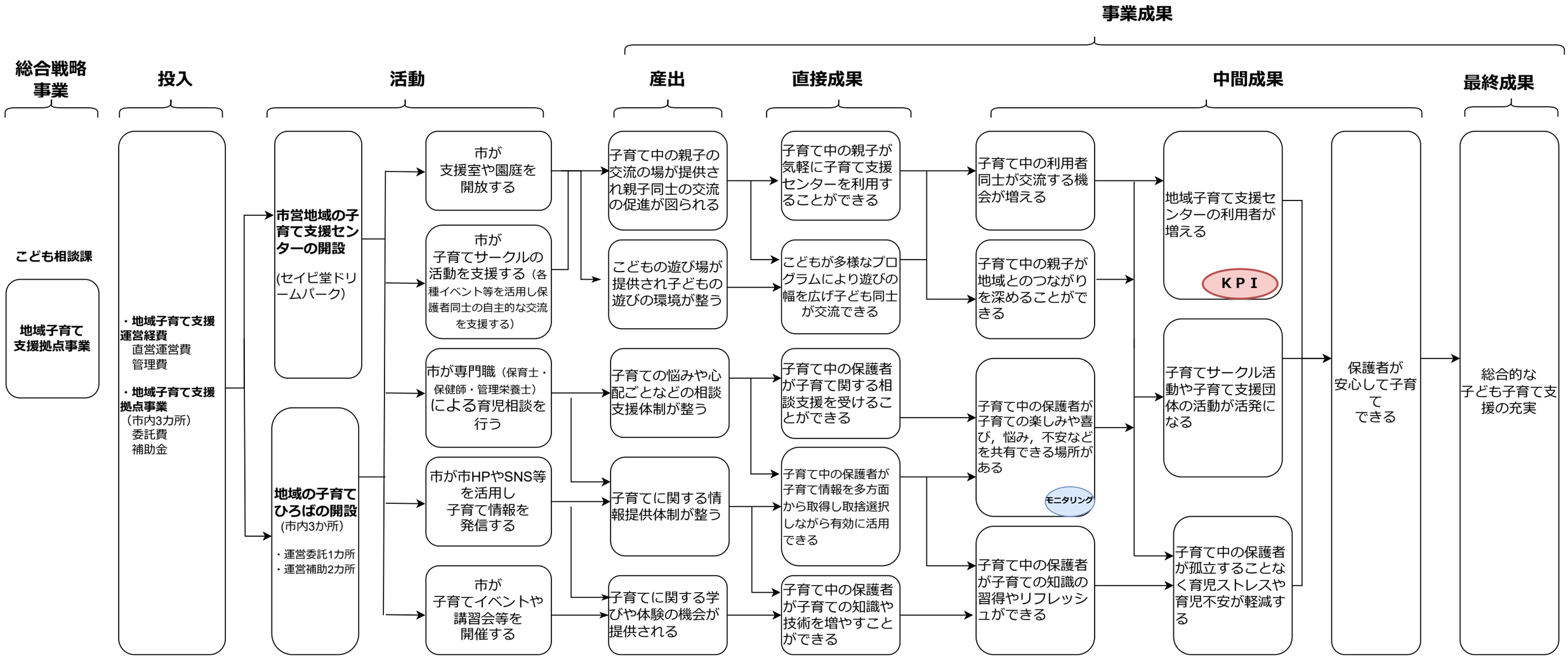
- 職員全体で切磋琢磨して，能力を向上しようとする環境ができている。
- 職員が自分の強みと弱みを理解し，自分の能力を効果的に伸ばしている。
- 職員が自分の役割を理解し，実務・技術能力を効果的に伸ばしている。
- チームワークが良く，各職員が自律した組織となっている。
- 職員全体が，市の目標を共有し，実現に向けて実行している。
- 職員が市民ニーズを的確に把握し，市民ニーズに沿った事業を実施している。
- 職員が常に市民目線で仕事をしている。

- 意見聴取
  職員が自発的かつ積極的に能力開発を行っている。
  職員の意識の向上
- 職員が高い使命感を持って意欲的に業務に取り組んでいる。
- 意見聴取
  職員が一丸となって積極的に行政課題に取り組む生産性の高い組織が形成される。
  所属長の認識
- 市民が職員を信頼している。

- 積極的な能力開発
- 職員の意欲向上
- 組織の活性化
- 信頼される職員
- 質の高い行政サービスの提供

| 指　　標 | | |
|---|---|---|
| **現状値　⇒　目標値** | **現状値**：2023年度（実績） | **目標値（2026年度）** |
| 階層別研修（指定研修）における受講率・研修内容に満足した受講者割合 | **受講率：９４．４％**　（ 171人受講　／　181人指定 ）<br>**満足度：　-** | **受講率：１００％**<br>**満足度：１００％** |
| 特別研修（指定研修）における受講率・研修内容に満足した受講者割合 | **受講率：９０．２％**　（ 359人受講　／　398人指定 ）<br>**満足度：　-** | **受講率：１００％**<br>**満足度：１００％** |
| 研修受講者延べ人数（指定研修を除く。） | **１１６人** | **１９０人**<br>（一般職員の半数以上が希望する研修を受講している組織を目指す） |
| 自己啓発支援制度（通信教育・資格取得・自主研修・自己啓発休業）の活用数 | **１２件**　（ 通信：1件，資格：3件，自主：3件，休業：0件 ） | **２０件**<br>（一般職員の5%以上が制度を活用して自己啓発している組織を目指す） |

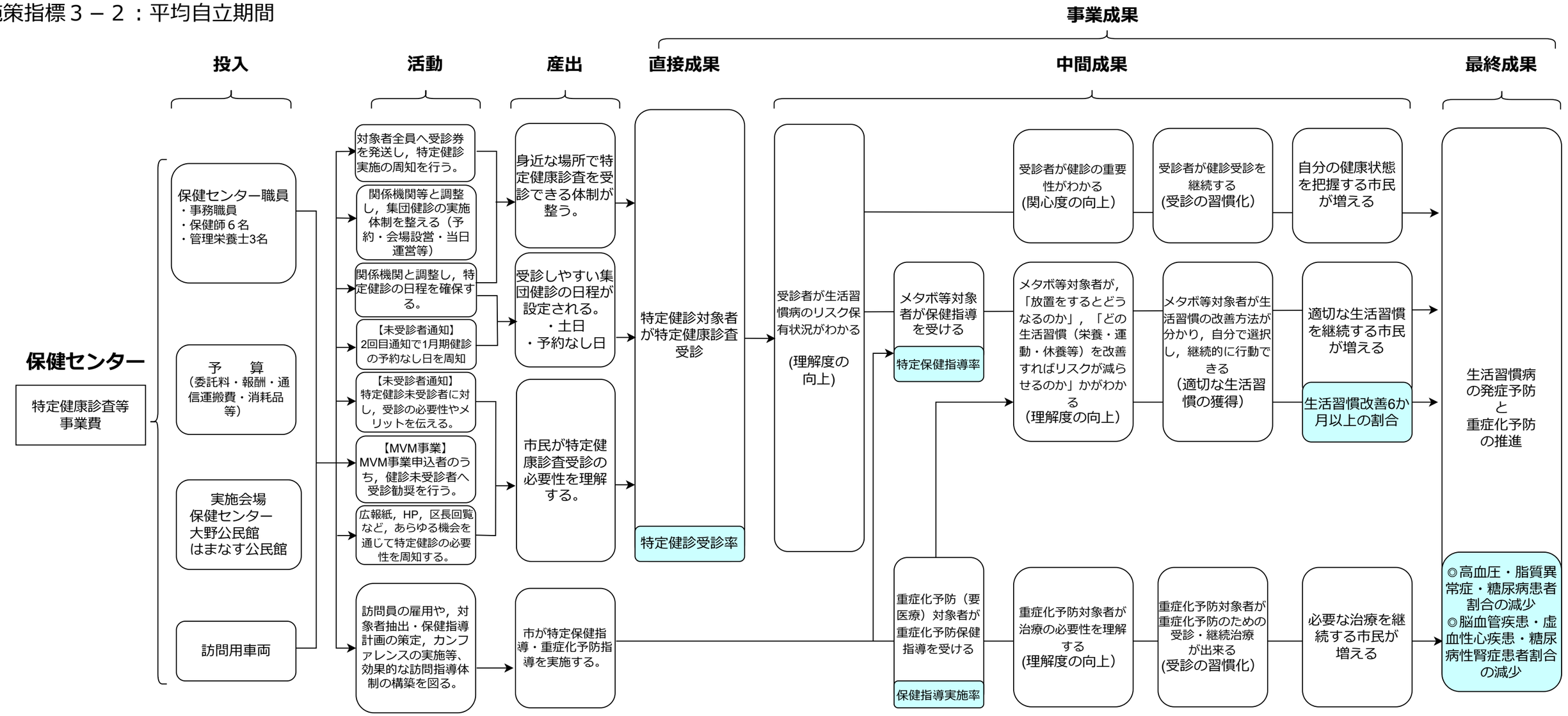
# 戦略１　子育て支援　（1）まちぐるみで子育てを応援する




| 現状値→目標値 | 指標 | 目標値 | 2021年度末 | 2024年3月末 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策目標<br>（目標年度：2031年度） | 出生数 | 425人／年 | 450人／年 | 369人／年 | |
| | 出生率 | 6.75%／年 | 6.75%／年 | 5.613%／年 | |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 地域子育て支援拠点の利用割合<br>（地域子育て支援センターの未就学児童の利用登録割合） | 80%／年 | 9.2%／年 | 62.3%／年 | KPI |
| モニタリング指標 | 地域子育て支援センターを利用している保護者の満足度<br>（地域子育て支援センター利用者アンケートにおける10点満点中の満足度） | 8点以上の割合が80% | – | – | モニタリング |

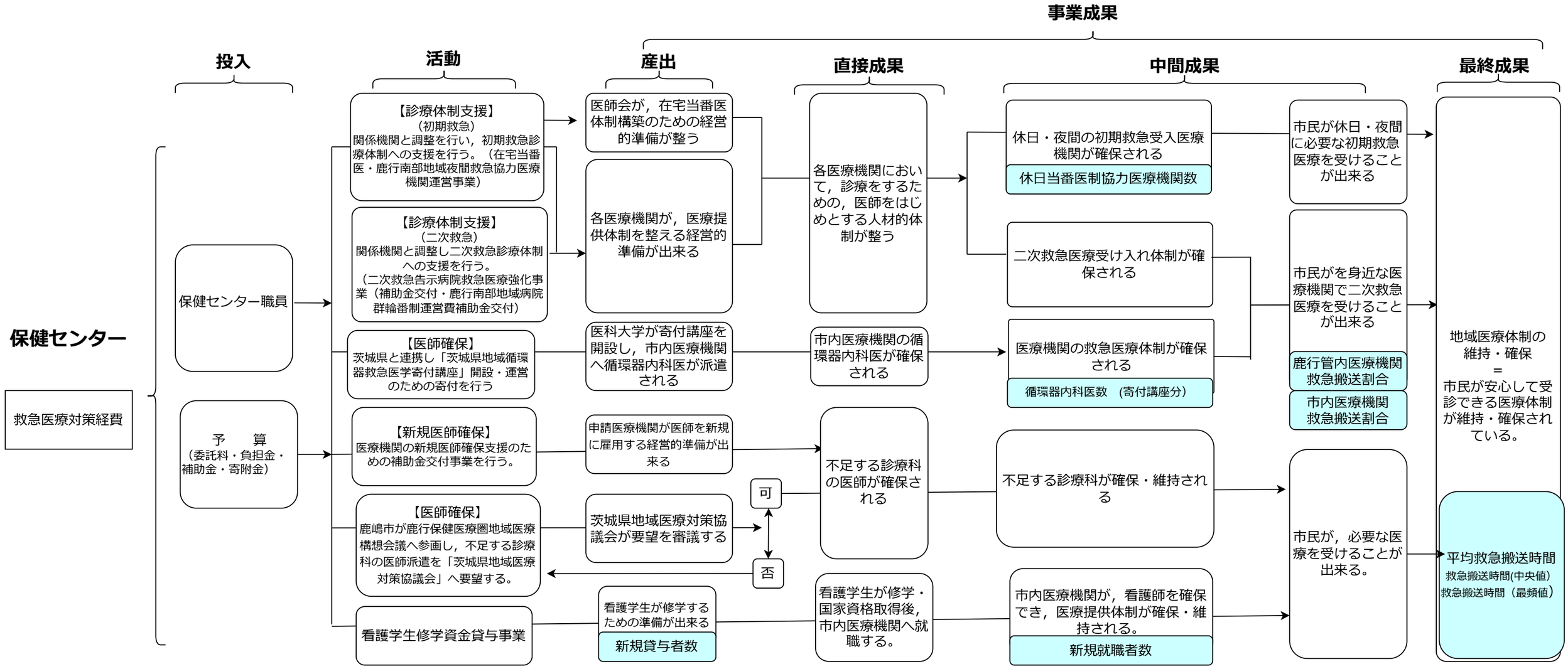
## 戦略３　健康づくり支援　（２）予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす

施策指標３－２：平均自立期間




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 平均自立期間 | 男性：79.6年<br>女性：83.7年 | 男性：80.0年<br>女性：84.0年 |
| KPI<br>（目標年度：2026年度） | 特定健康診査受診率 | 32.0%／年 | 60.0%／年 |
| | 特定保健指導の実施率 | 52.0%／年 | 60.0%／年 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 生活習慣改善取組済<br>（6か月以上）の割合 | 18.7% | 増加 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 高血圧・脂質異常症・糖尿病<br>患者割合の減少（国保） | 高血圧（20.3%）・脂質異常症<br>（15.9%）・糖尿病（9.8%） | 減少 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 脳血管疾患・虚血性心疾患・<br>糖尿病性腎症患者割合の減少（国保） | 脳血管疾患（5.11%）・虚血性心疾患<br>（5.16%）・糖尿病性腎症（0.03%） | 減少 |

# 戦略３　健康づくり支援　（２）予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 目標値 |
| 政策指標（目標年度：2031年度） | 平均自立期間 | 男性：79.6歳<br>女性：83.7歳 | 男性：80.0歳<br>女性：84.0歳 |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 休日当番医協力医療機関数 | １８医療機関 | 現状値維持 |
| 施策指標（目標年度：2031年度） | 循環器内科医確保数（寄付講座分） | 0人 | 2人（派遣枠の維持） |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 市内医療機関　搬送割合 | 51.8% | 現状値より増加 |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 鹿行管内医療機関　搬送割合 | 82% | 現状値より増加 |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 平均救急搬送時間 | 49.4分 | 43.3分（令和元年度県平均値） |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 新規修学資金貸与者数（R5～毎年度） | 0人 | 3人 |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 新規市内医療機関就職者数<br>（R9年度～毎年度） | 0人 | 3人 |

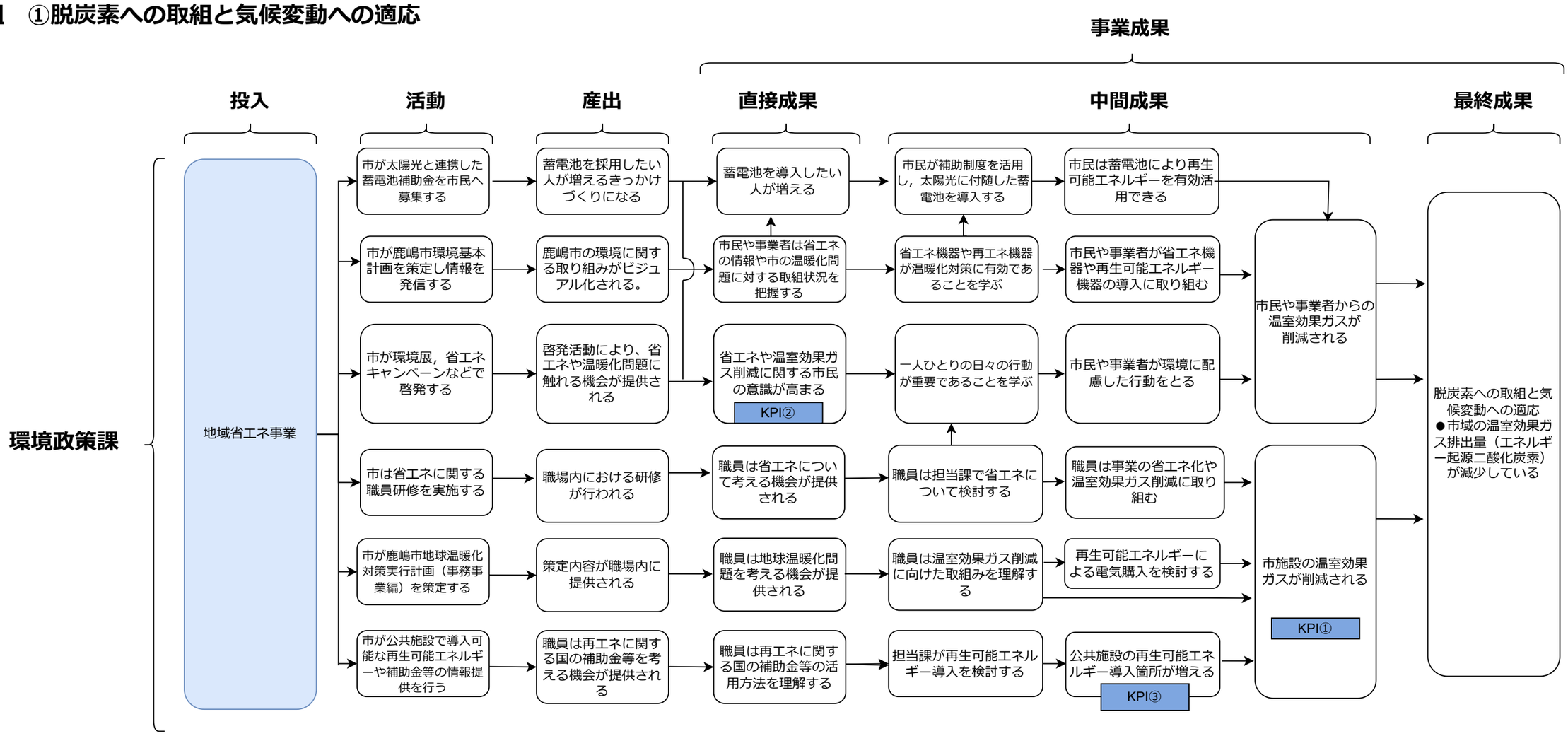
**備　　考**

地域医療については，茨城県の責任のもと「保健医療計画」「医師確保計画」等により推進されている。
その中で救急医療について，保健医療計画では「初期救急」は「市町村単位での実施」と明記され，現在、市町村の主導のもと「在宅当番医制」（単独）や「夜間救急医療協力医療機関運営事業」（鹿行3市）にて整備を行っている。
また二次救急については，県の対応と併せ，対応する市町村もあり，当市を含めた鹿行南部地域においては「病院群輪番制」（鹿行南部三市），あるいは「二次救急病院運営費補助金」（単独）にて医療機関支援を行っている。
加えて医師不足・医師偏在是正について茨城県は「地域医療対策協議会」を開催し，医育大学大学からの医師不足地域への医師派遣の協議を行っている。
現在，県（潮来保健所）は鹿行地域（二次医療圏）の医療提供体制や医師偏在について，主要医療機関や市町村，関係団体代表等を一堂に集めた「地域医療構想調整会議」を開催している。会議では病院機能の分化・連携推進を含めた，医療提供体制を実現するための施策の方向性や医師の派遣等について協議し「地域医療対策協議会」への要望を行っている。
総合計画における基本施策「スポーツに親しみ健康に生きる」の施策の方向性としての「地域医療体制の充実とヘルスケアの推進」は，「地域医療体制の維持・確保」だけではなく「生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進」や「感染症対策の推進」「次世代ヘルスケアへの取組推進」等，重層的に推進を行っていく必要である。

**施策４－３　豊かな鹿嶋の海や緑を未来へつなぐ**

**施策の方向性　地球環境に配慮した持続可能なまちづくり**

**取組　①脱炭素への取組と気候変動への適応**



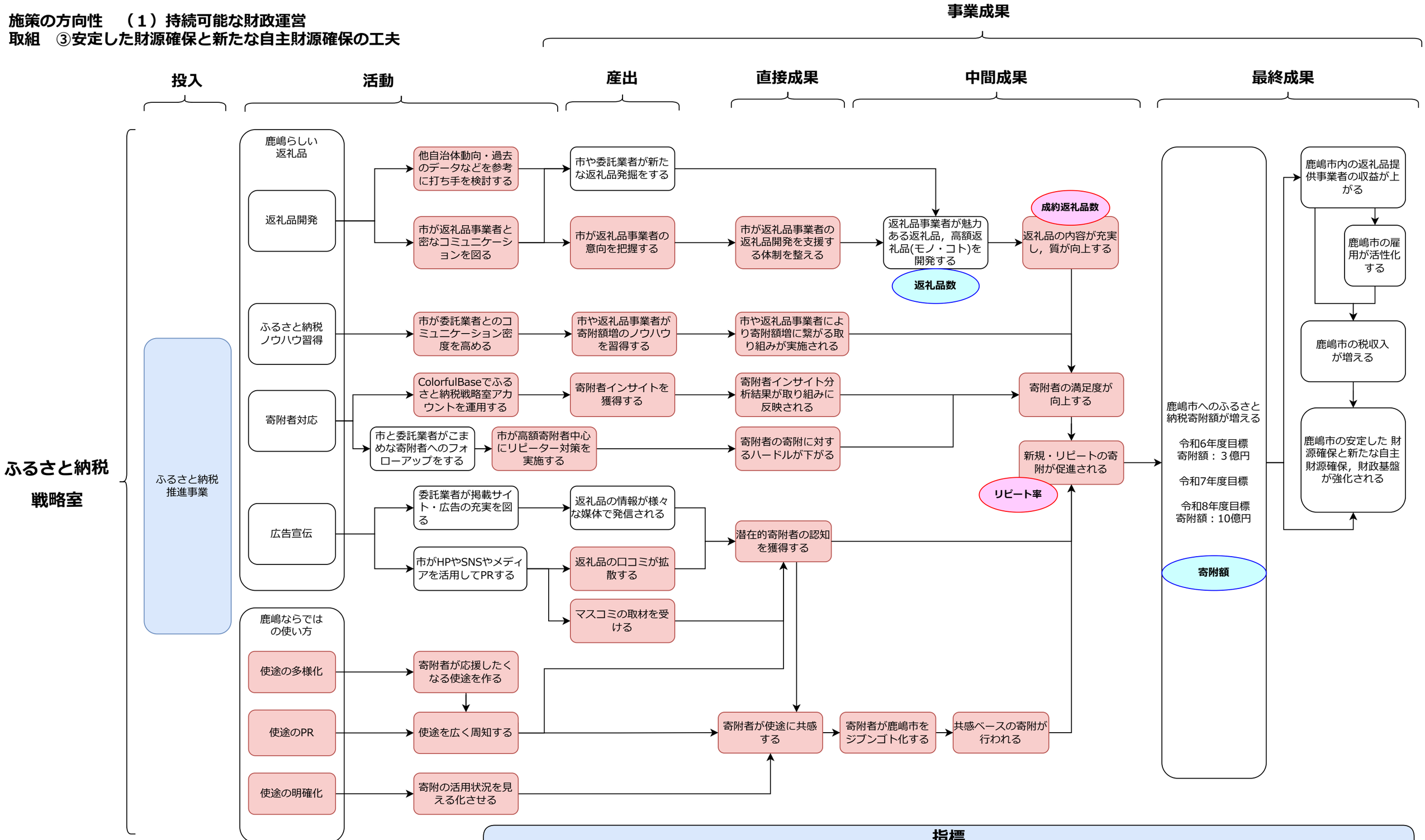

| 温室効果ガス削減目標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 内　容 | 現　状<br>（2021年度） | 目標値<br>（2026年度） | 目標値<br>（2031年度） |
| 総合計画 | 施策目標：市域の温室効果ガス排出量<br>（エネルギー起源二酸化炭素） | -<br>1,138.4千t | ＊＊＊ | △50%<br>1,126千ｔ |
| 総合戦略 | 事業指標：市施設の温室効果ガス排出量<br>（エネルギー起源二酸化炭素） | 5,432.2t | △20%<br>4,371.7t | ＊＊＊ |

※施策目標を当初△26%（1,667千ｔ）に設定していたが，令和3年度の国の基準見直しに伴い2013年度（2,253千ｔ）比△50%（1,126千ｔ）に再設定

| モニタリング指標 | | |
|---|---|---|
| 内容 | 目標値 | 備　考 |
| 市施設の温室効果ガスの削減（KPI①） | △4%/年 | 2021年度比 |
| 省エネや温室効果ガス削減に関する市民の意識調査（KPI②） | 500件 | 毎年度実施 |
| 再生可能エネルギー導入箇所数（KPI③） | 23箇所 | 令和7年度まで<br>21箇所（令和3年度） |
| | | |

**施策５－２　スマートで持続可能なまちをつくる**

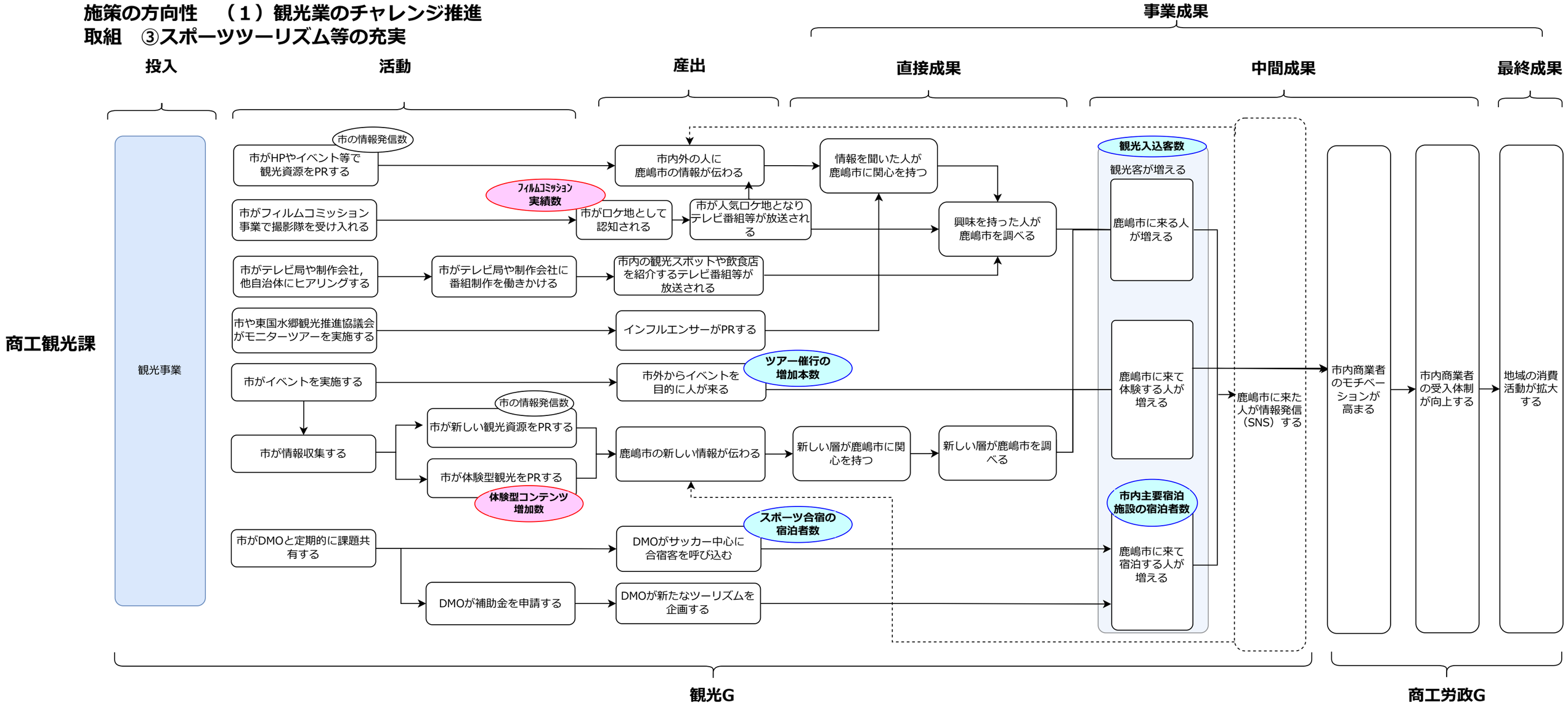
**施策の方向性　（１）持続可能な財政運営**
**取組　③安定した財源確保と新たな自主財源確保の工夫**




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値（2021年度末） | 目標値 |
| 事業目標（目標：2024年度） | ふるさと納税返礼品数 | 約400件 | 600件 |
| 事業目標（目標：2026年度） | ふるさと納税寄附額 | 66,955千円 | 1,000,000千円 |
| モニタリング指標（目標：2026年度） | 成約返礼品数 | 209品 | 495品 |
| モニタリング指標（目標：2026年度） | リピート率（2年度2回） | 8.99%（2023年度末） | 30% |

# 施策４－１　既存産業のチャレンジを応援する

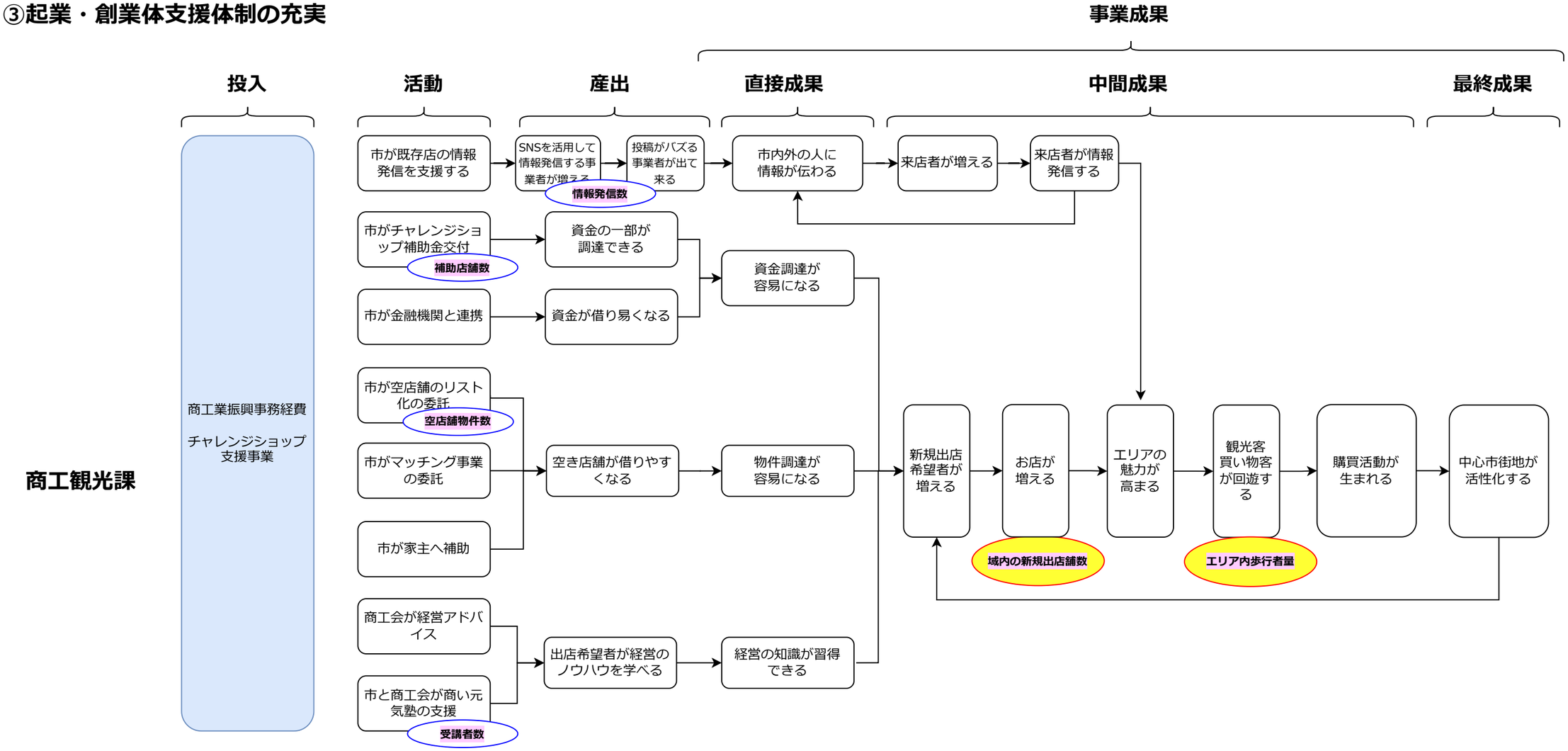
## 施策の方向性　（１）観光業のチャレンジ推進
## 取組　③スポーツツーリズム等の充実




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 目標値 |
| 施策指標（目標：2031年度） | 市内主要宿泊施設の宿泊者数 | 40,000人／年 | 120,000人／年 |
| 事業目標（目標：2026年度） | スポーツ合宿の宿泊者数 | 2,500人／年 | 8,000人／年 |
| モニタリング指標①（目標：2026年度） | ツアー催行の増加数<br>※市営宮中地区駐車場の大型バス数でモニタリング | ー | 50台／年 |
| モニタリング指標②（目標：2026年度） | 体験型コンテンツ増加数 | ー | 10件 |
| モニタリング指標③（目標：2026年度） | 観光入込客数 | 2,498,550人／年 | 3,000,000人／年 |
| モニタリング指標④（目標：2026年度） | フィルムコミッション実績数 | 13件／年 | 30件／年 |
| モニタリング指標⑤（目標：2026年度） | 市の情報発信数<br>※市公式SNS発信数 | 23件／年 | 50件／年 |

# 施策４－１　既存産業のチャレンジを応援する

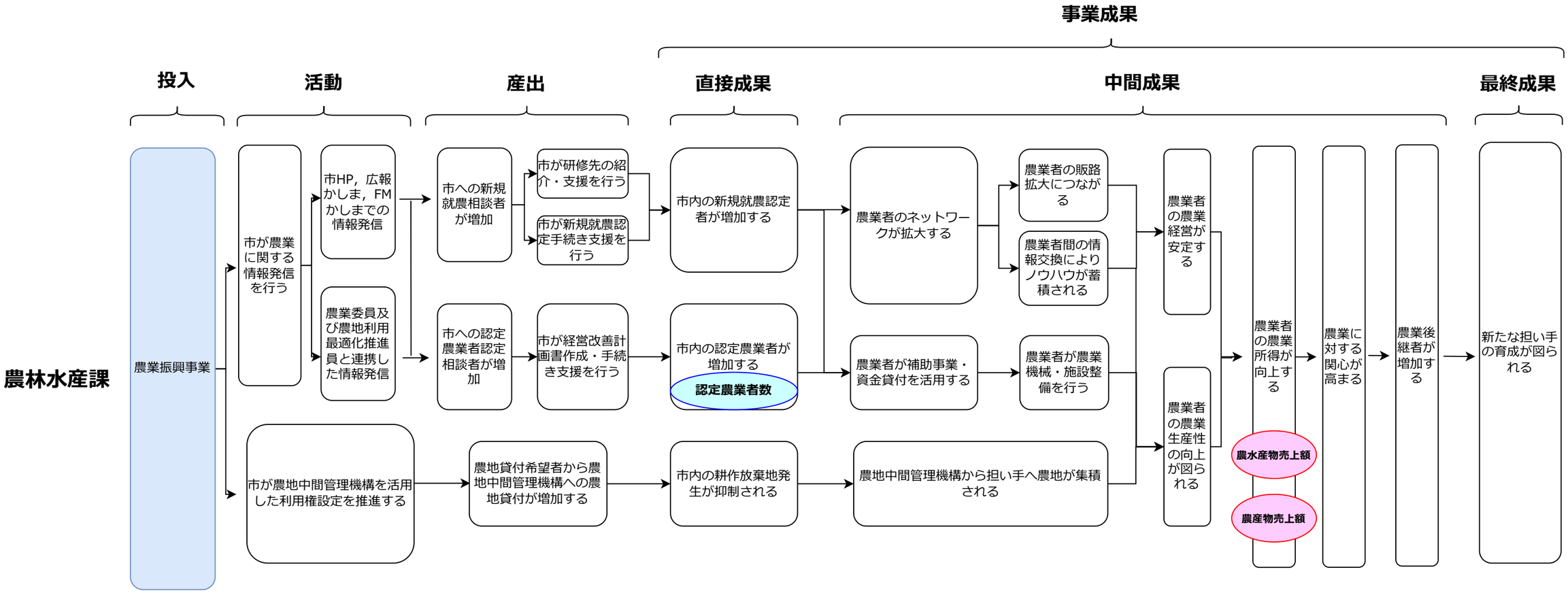
## 施策の方向性　（３）商工業のチャレンジ促進
## 取組　③起業・創業体支援体制の充実




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 目標値 |
| 施策目標（目標：2024年度） | 域内の新規出店舗数<br>※チャレンジショップ補助店舗数とは相違 | 7店舗 | 14店舗 |
| 施策目標（目標：2024年度） | 平休日平均の歩行者通行量 | 3,260人／12h | 4,260人／12h |
| 事業目標（目標：2024年度） | チャレンジショップ補助店舗数 | 5店舗 | 14店舗 |
| ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ指標①（目標：2024年度） | 空き店舗物件数 | － | 現状から10件減少 |
| ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ指標②（目標：2024年度） | 商い元気塾受講者数 | 11人／年 | 15人／年 |
| ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ指標③（目標：2024年度） | 情報発信数 | 市長プロジェクトと揃える | 市長プロジェクトと揃える |

## 施策４－１　既存産業のチャレンジを応援する

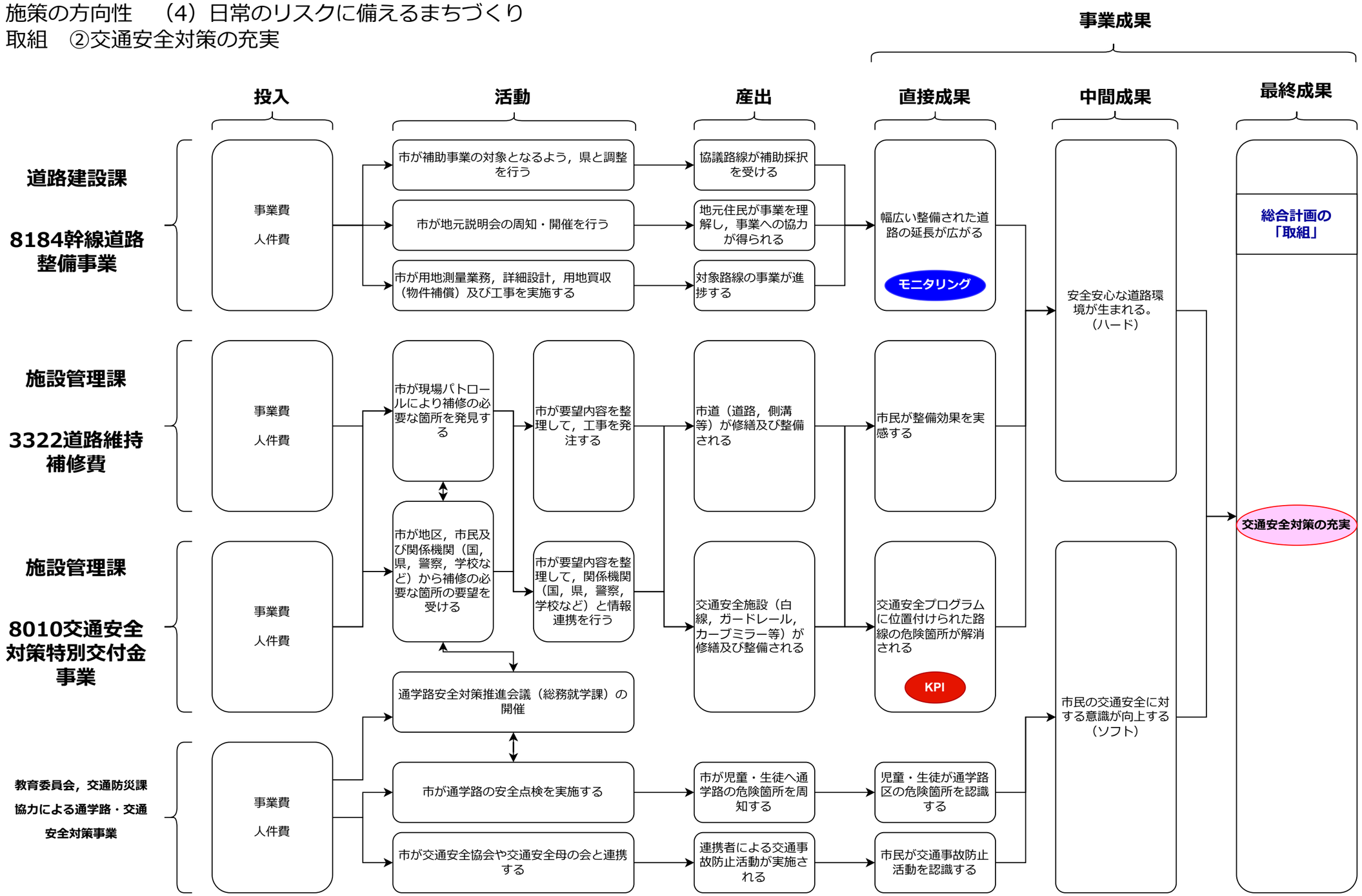
## 施策の方向性　農水産業のチャレンジ促進
## 取組　①新たな担い手の育成・支援




| 指標 | | | |
|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値（2021年度末） | 目標値 |
| 施策指標（目標：2031年度） | 農水産物売上額 | 2,200百万円／年 | 2,400百万円／年 |
| 事業指標（目標：2026年度） | 認定農業者数 | 126人 | 141人 |
| モニタリング指標（目標：2026年度） | 農産物売上額 | 1,388百万円／年 | 1,450百万円／年 |

## 施策5-1　コンパクトで安全なまちをつくる

施策の方向性　（4）日常のリスクに備えるまちづくり
取組　②交通安全対策の充実



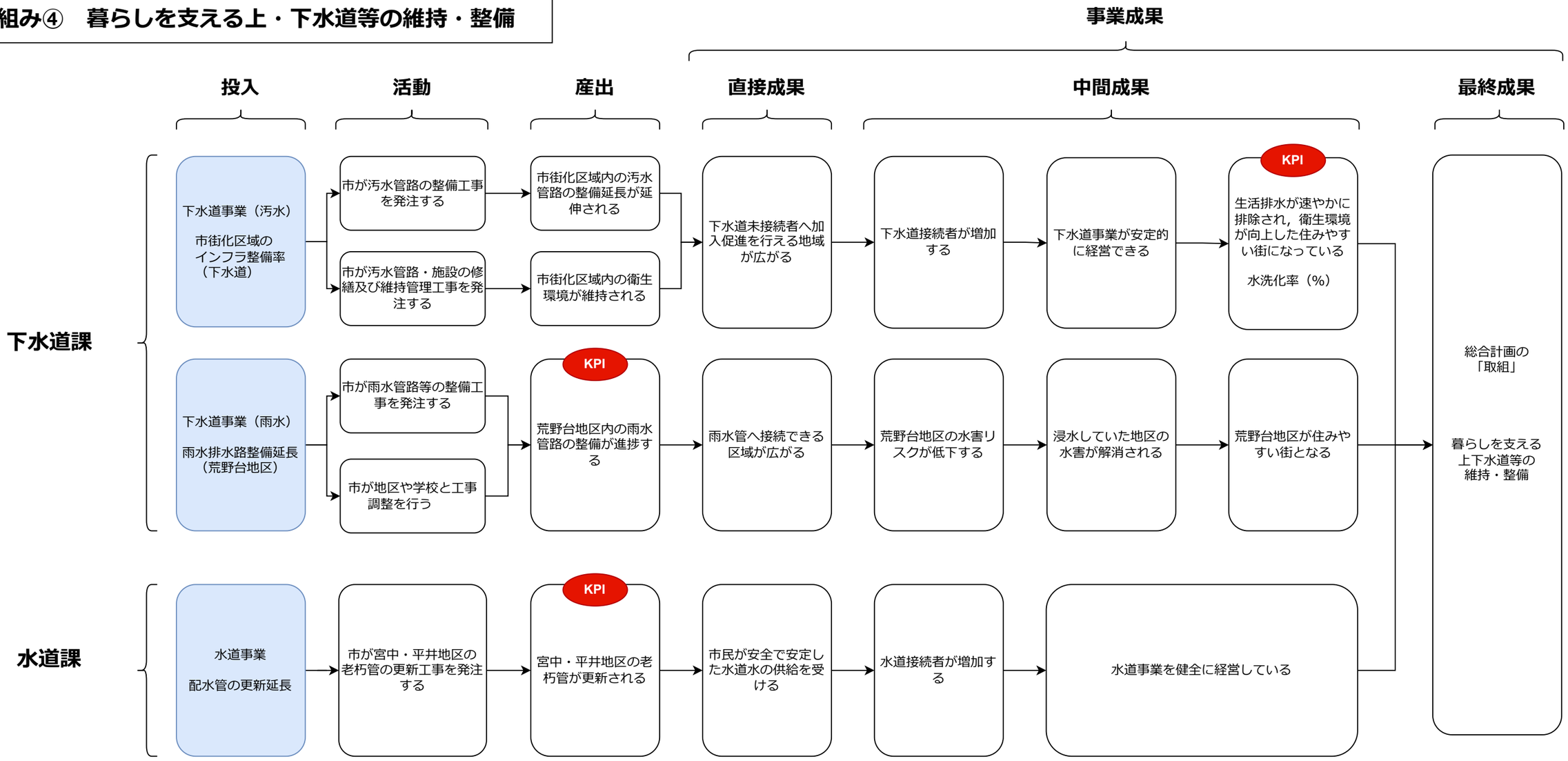

### 指標

| 現状値　→　目標値 | | 指標 | 2021年度末 | 現状値：2023年度末 | 目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 交通安全プログラムに計画されている整備延長 | KPI | 8,000m | 8,873m | 9,000m |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 道路改良率 | モニタリング | 54.1% | 54.2% | 54.4% |

**施策５－１　コンパクトで安全なまちをつくる**

**施策の方向性　（1）最適化した土地利用・基盤づくり**

**取組み④　暮らしを支える上・下水道等の維持・整備**




**指標**

| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 現状値：2023年度末 | 目標値 |
|---|---|---|---|---|
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 市街化区域内のインフラ整備率（下水道） | 90.5% | 91.0% | 91.5% |
| | 雨水排水路整備延長（荒野台地区） | 930m | 1,035m | 1,660m |
| | 配水管の更新延長 | 4,443m | 5,024m | 6,010m |

**施策１－１　まちぐるみで子育てを応援する**

**施策の方向性　（１）子供を生み育てやすい環境づくり**
**取組　②総合的な子ども・子育て支援の充実**

幼児教育課

投入

【民間施設】
特別保育・保育サービス支援事業

市が
各種保育サービスを実施する民間施設に対し，財政的支援を行う。

活動

市が,より高度な専門性を要する病児保育(病児対応型)について，医療機関等適切な委託先を選定する。

市が補助事業実施要綱を整備する。

市が,
施設に対し事業の周知を行う。

産出

◆**病児保育**（病児対応型）市が委託した医療機関等は，子どもが病気により集団保育等が困難な期間に一時的に病院等に付設された施設で預かりを行う。 → 病児保育（病児対応型）実施施設数

◆**病児保育（体調不良児型）**施設は，保育中に体調不良になった園児を，看護士を配置し，専用スペースで一時的に預かる体制を整える。 → 病児保育（体調不良児型）実施施設数

◆**延長保育**　施設は，11時間を超えて，通常保育の利用時間以外に時間外保育を実施する。 → 延長保育 実施施設数

◆**一時預かり（幼稚園型）**認定こども園や幼稚園は，就労や病気等で家庭保育が一時的に困難な在園児の保護者に対し，教育時間の前後や長期休業期間中の預かり保育を実施する。 → 一時預かり（幼稚園型）実施施設数

◆**一時預かり（一般型・余裕活用型）**施設は，急病や急用等家庭保育が一時的に困難になった未就園児の保護者に対し。一時的に預かりを行う。 → 一時預かり（一般型・余裕活用型）実施施設数

○**障がい児保育事業**　施設は，特別な支援を要する児童に対して配置基準以上に加配保育士を配置する。 → 実施施設数

○**保育士雇用助成事業**　施設は，年度途中の0・1歳児の受入に対応するため，あらかじめ保育士を確保する → 年度途中入所希望者の入所率

○**保育体制強化事業**　施設は，保育士以外の保育支援者を配置する。 → 実施施設数

事業成果

直接成果

市子ども・子育て支援計画
地域子ども・子育て支援事業【◆】の充実

施設は，地域ニーズに基づき実施する法定事業(地域子ども・子育て支援事業）の実施体制を整え，市のサービス提供体制が確保される。

保護者は，子どもが病気のときであっても，仕事を休むことなく安心して子どもを預けることができる。

施設では，在園児が体調不良となっても，保護者が迎えに来るまでの間，看護士の養護のもとで預かりが行われる。

保護者が通常の保育時間内に迎えができないときでも，園児は慣れた場所で保育を受けられる。

幼稚園・認定こども園（1号）に通う児童の保護者が就労や急用により，一時的に保育を必要とする場合，園児は慣れた場所で保育を受けられる。

未就園児の保護者が急病や急用等により，家庭での保育が一時的に困難となった場合に，施設で一時的に預かりや必要な保育が行われる。

保育人材の確保・体制強化【○】

施設は，特別な支援を要する児童に対し，集団生活を送るうえで必要な個別の援助や配慮を行っている。

施設では，年度途中の受入態勢が整えられている。

施設の保育士は，保育支援員の配置により業務の負担が軽減され，保育業務に専念できている。

中間成果

子育て世帯

保護者は，希望する支援を受け，子どもを預けることができる。

入所者率

教育・保育施設

施設は，教育・保育の質を高める。

施設は，安心・安全な保育環境を確保する。

子育てしやすい保育環境が整い，保護者は，働きながら安心して子どもを育てられる。

最終成果

1-1-(1)-②
総合的な子ども子育て支援の充実

出生数

活動

【市長政策事業】
幼保ありかた事業研究

市は，
・市内公私立幼児教育・保育施設の定員，職員体制等現状を把握する。
・各年齢帯における就学前児童数，出生数，新規入所申込者数，入所率等，施設ニーズを推計するためのデータの収集・整理を行う。

市は，把握・整理したデータに基づき，将来的に必要となる施設ニーズの総量を数値化する。

産出

公立幼稚園・保育施設再編方針の見直し

市は，民間施設による施設ニーズ総量に対する充足率を求め，それをもとに，公立施設に必要とされる供給見込量を積算する。

民間施設の供給量を勘案し，公立施設を含め，適正規模での施設が配置されている。

市内の教育・保育提供体制が確保される

子育て家庭は必要な教育・保育サービスを利用できる

待機児童数

**令和5年度　教育・保育施設数**

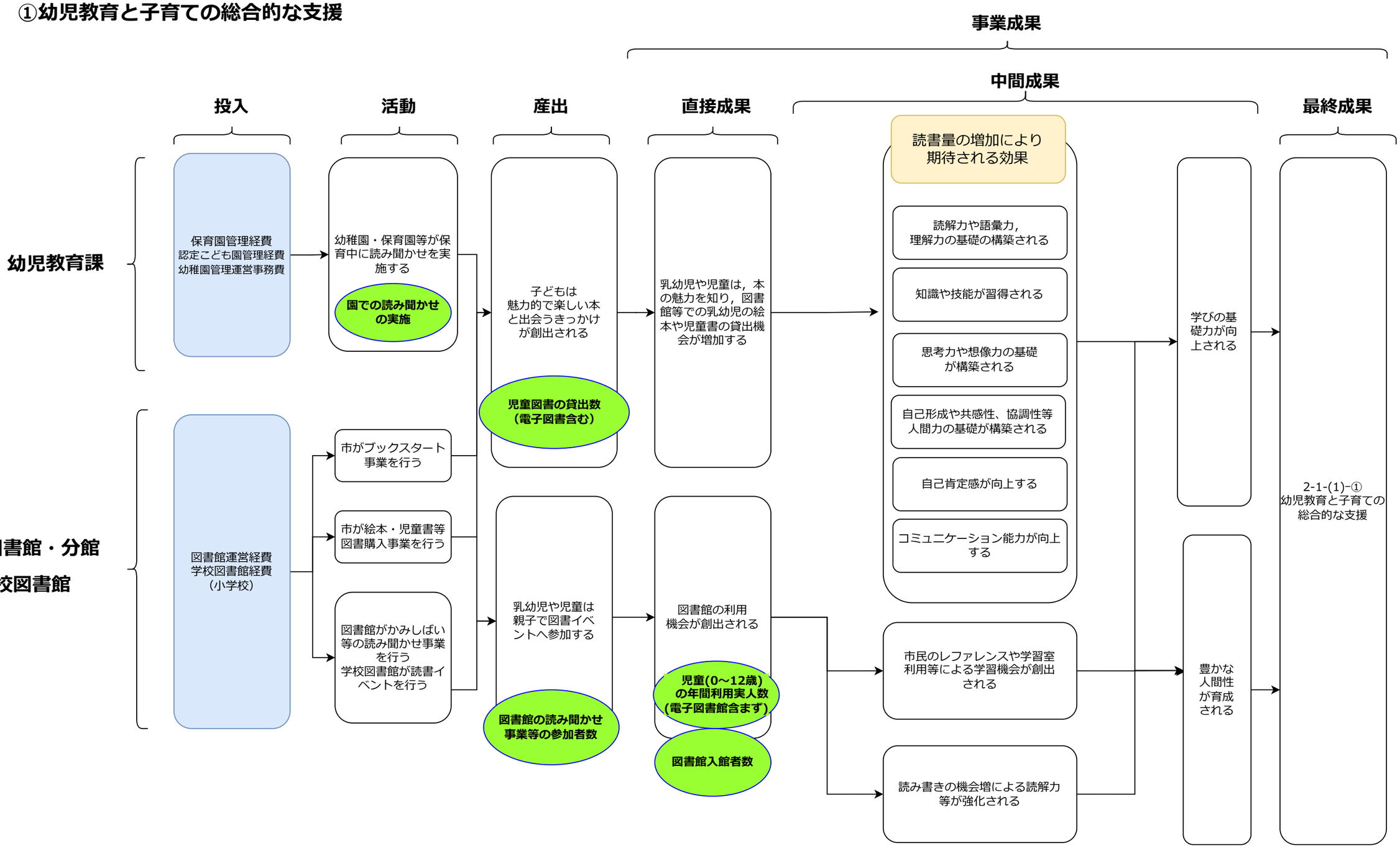
| | | |
|---|---|---|
| 私立 | 保育所 | 7施設 |
| | 幼保連携型認定こども園 | 6施設 |
| | 小規模保育事業所 | 7施設 |
| | 家庭的保育事業所 | 1施設 |
| | 計 | 21施設 |
| 公立 | 保育所 | 3施設 |
| | 幼保連携型認定こども園 | 1施設 |
| | 幼稚園 | 4施設 |
| | 計 | 8施設 |

※休止施設を除く

| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 出生数 | 450人／年 | 369人／年 | 425人／年 |
| | 出生率 | 6.75‰／年 | 5.613‰／年 | 6.75‰／年 |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 待機児童数 | 0人／年 | 0人／年 | 0人／年 |
| モニタリング指標<br>（目標年度:2023年度・単年度） | 年度末の入所者率（3月1日現在入所者数/入所希望者数） | 100% | 100% | ー |
| モニタリング指標<br>（鹿嶋市子ども・子育て支援計画<br>目標年度：2024年度　） | 病児保育（病児対応型）実施施設数 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 |
| | 病児保育（体調不良児型）実施施設数 | 2箇所 | 2箇所 | 2箇所 |
| | 一時預かり（幼稚園型）実施施設数 | 11箇所 | 11箇所 | 10箇所 |
| | 一時預かり（一般型・余裕活用型）実施施設数 | 26箇所 | 26箇所 | 27箇所 |
| | 延長保育　実施施設数 | 26箇所 | 26箇所 | 27箇所 |
| モニタリング指標<br>（目標年度:2023年度・単年度） | 障がい児保育事業　要支援児の預かりを行っている施設数 | 11箇所 | 11箇所 | 12箇所 |
| | 保育士雇用助成事業　年度途中入所希望者の入所率 | 100% | 100% | 100% |
| | 保育士体制強化事業　実施施設数 | 3箇所 | 14箇所 | 21箇所 |

**施策２－１　未来を担う人人財「鹿嶋っ子」を育む**

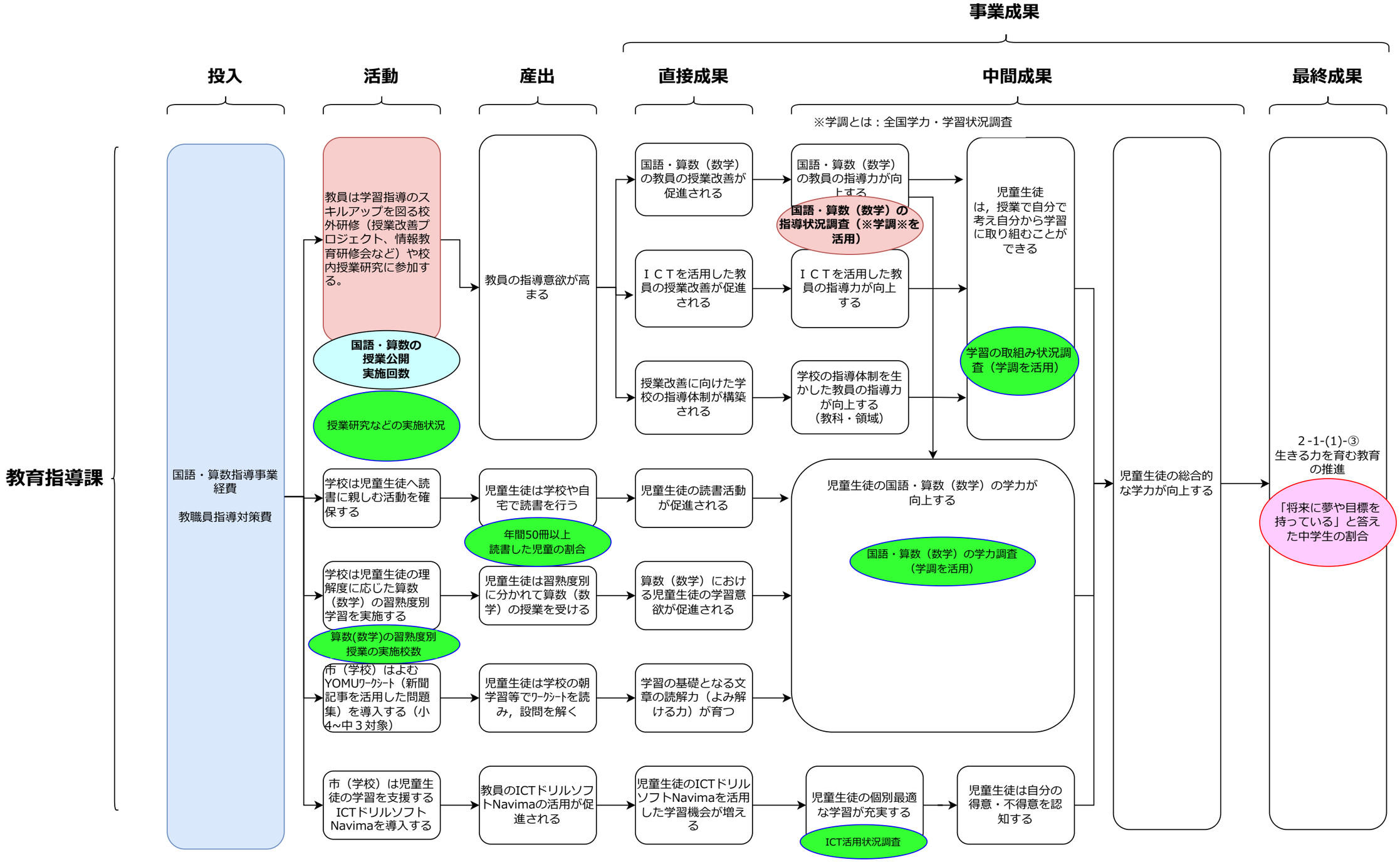
**施策の方向性　（１）たくましく柔軟な子どもを育む学校教育**
**取組　①幼児教育と子育ての総合的な支援**



| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合 | 71% | 71% | ８０％ |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 園での読み聞かせの実施 | 1日10分年間42時間 | 1日15分年間63時間 | 1日10分年間42時間 |
| | 図書館児童書貸出数<br>（電子図書含む） | 82,461冊 | 95,596冊 | 90,000冊 |
| | 図書館で例月実施している読み聞かせ事業等の参加者数 | – | 442人 | 480人<br>（月40人） |
| | 児童（0歳～12歳）の年間利用実人数（電子図書館含まず） | – | – | 1,260人 |
| | 中央図書館入館数 | 90,232人 | 101,118人 | 100,000人 |

## 施策２－１　未来を担う人材「鹿嶋っ子」を育む

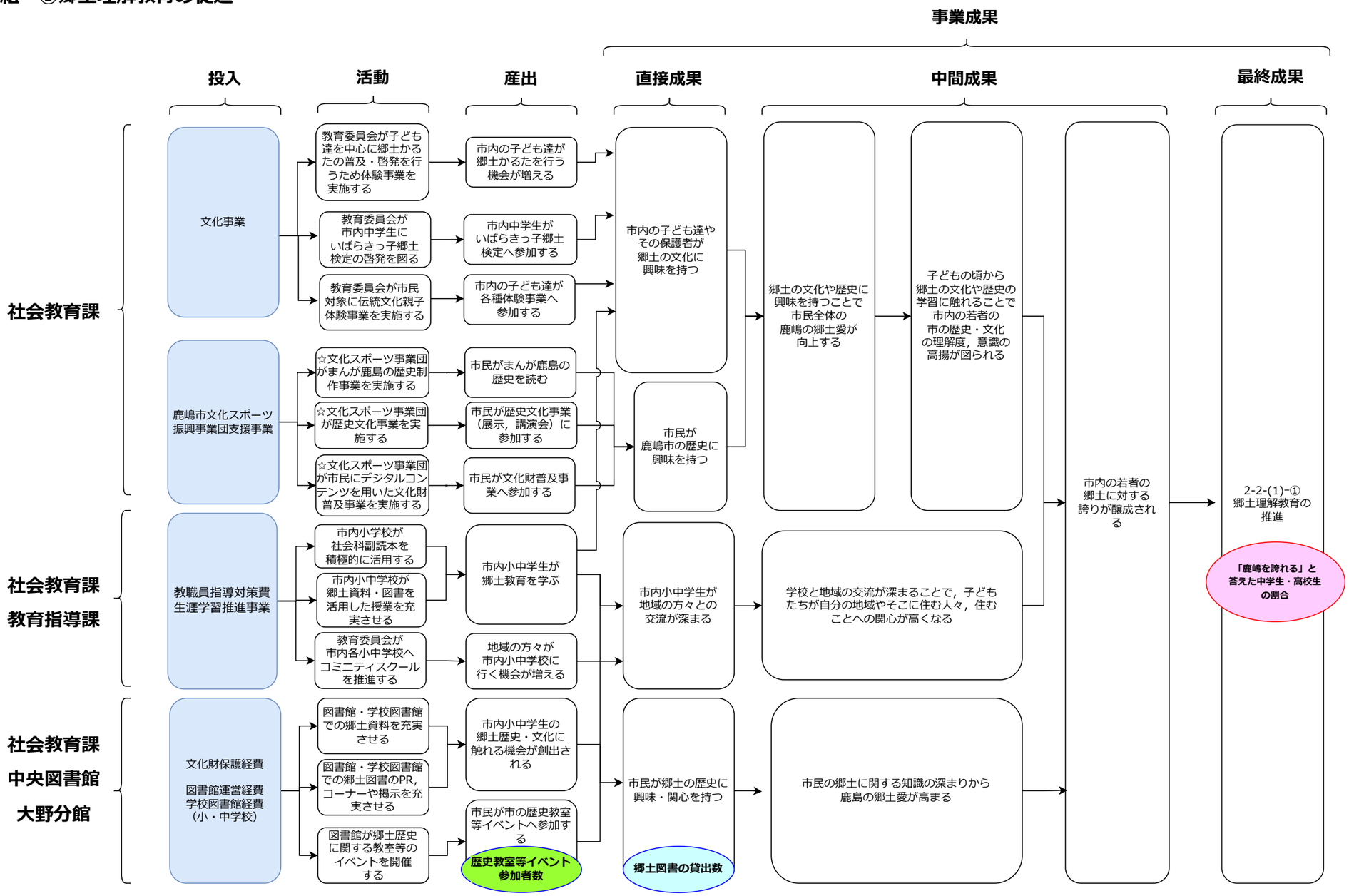
## 施策の方向性　（１）たくましく柔軟な子どもを育む学校教育
## 取組　②学び高めあう学校教育の推進



| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 学調において「将来に夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合 | 71% | 71% | 80% |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 学校における教職員の授業公開の年間日数 | 260回／年 | 441回／年 | 520回／年 |
| | 学調において「授業研究や事例研究等をよく行っている」と回答した学校の割合 | 64% | 47% | 100% |
| | 学調において「授業では、自分で考え自分から学習に取り組むことができている。」と回答した児童生徒の割合 | 85% | 86% | 90% |
| | 学調における国語・算数（数学）の結果<br>国平均との比較（対象：小６及び中３）<br>※（　）は県比較 | 国　県<br>小６　国語　＋（＋）<br>算数　＋（＋）<br>中３　国語　－（－）<br>数学　－（－）<br>4教科中、2教科、国平均越え | 国　県<br>小６　国語　－（－）<br>算数　－（－）<br>中３　国語　±（－）<br>数学　－（－）<br>4教科中、0教科、国平均越え | 国　県<br>小６　国語　＋（＋）<br>算数　＋（＋）<br>中３　国語　＋（＋）<br>数学　＋（＋）<br>4教科中、4教科、国平均越え |
| | ICT状況調査における活用状況 | 国平均超え | 国平均超え | 国平均超え |
| | 算数（数学）の習熟度別授業の実施校数 | ー | ー | 小学校：12校<br>中学校：5校 |
| | 年間50冊以上読書した児童（小4~６）の割合 | ー | ー | 80% |

## 施策２－２　豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

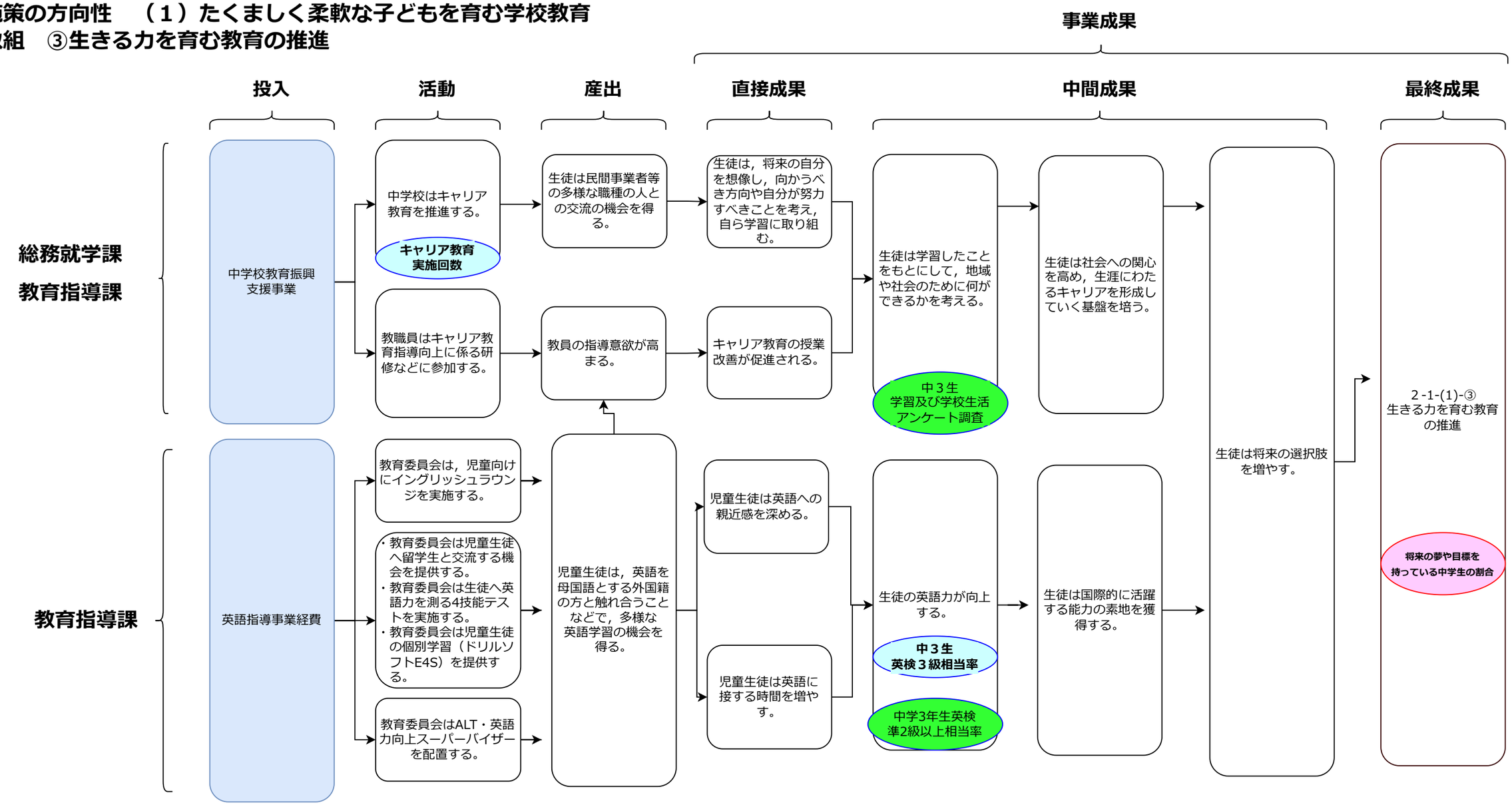
## 施策の方向性　（１）シビックプライドを育てる「郷育」
## 取組　①郷土理解教育の促進




| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合 | 61% | 65% | 70% |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 郷土図書の貸出数 | 1,010冊／年 | 1,280冊／年 | 1,300冊／年 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | 歴史教室等イベント参加者数 | 0人／年　2023年から実施予定 | 0人／年　2023年から実施予定 | 40人／年 |

# 施策２－１　未来を担う人材「鹿嶋っ子」を育む

## 施策の方向性　（１）たくましく柔軟な子どもを育む学校教育
## 取組　③生きる力を育む教育の推進

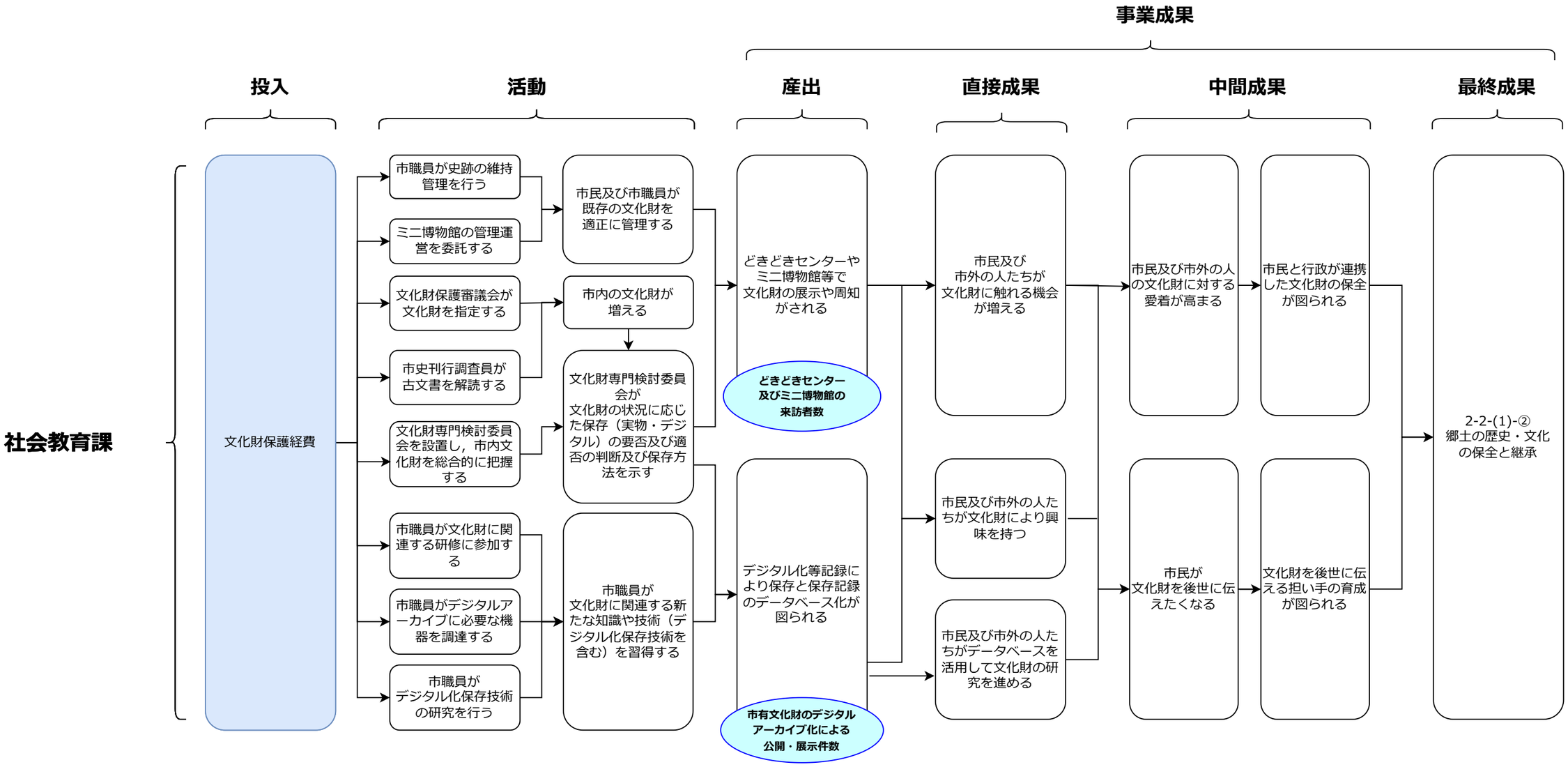



## 指標

| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
|---|---|---|---|---|
| 施策指標（目標年度：2031年度） | 「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合 | 71% | 71% | 80% |
| 事業指標（目標年度：2026年度） | 事業者（（株）鹿島アントラーズFCなど）と連携したキャリア教育実施回数 | 27回／年 | 55回／年 | 70回／年 |
| | 中学3年生英検３級相当率 | 55.5% | 55.6% | 65% |
| モニタリング指標（目標年度：2031年度） | 中３生「学習したことをもとにして、地域や社会のために何ができるか考えることがある。」と回答した割合 | — | 70% | 80% |
| | 中学3年生英検準2級以上相当率 | — | — | 中学3年生の５%以上 |

## 施策２－２　豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

## 施策の方向性　（１）シビックプライドを育てる「郷育」
## 取組　②郷土の歴史・文化の保全と継承




| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 指標<br>（目標年度：2024年度末） | どきどきセンター及び<br>ミニ博物館の来訪者数 | 4,783人 | 7,882人 | 10,000人 |
| 指標<br>（目標年度：2024年度末） | 市有文化財のデジタルアーカイブ化による公開・展示件数 | 0件 | 0件 | 3件 |

## 施策３－１　スポーツに親しみ健康を維持する

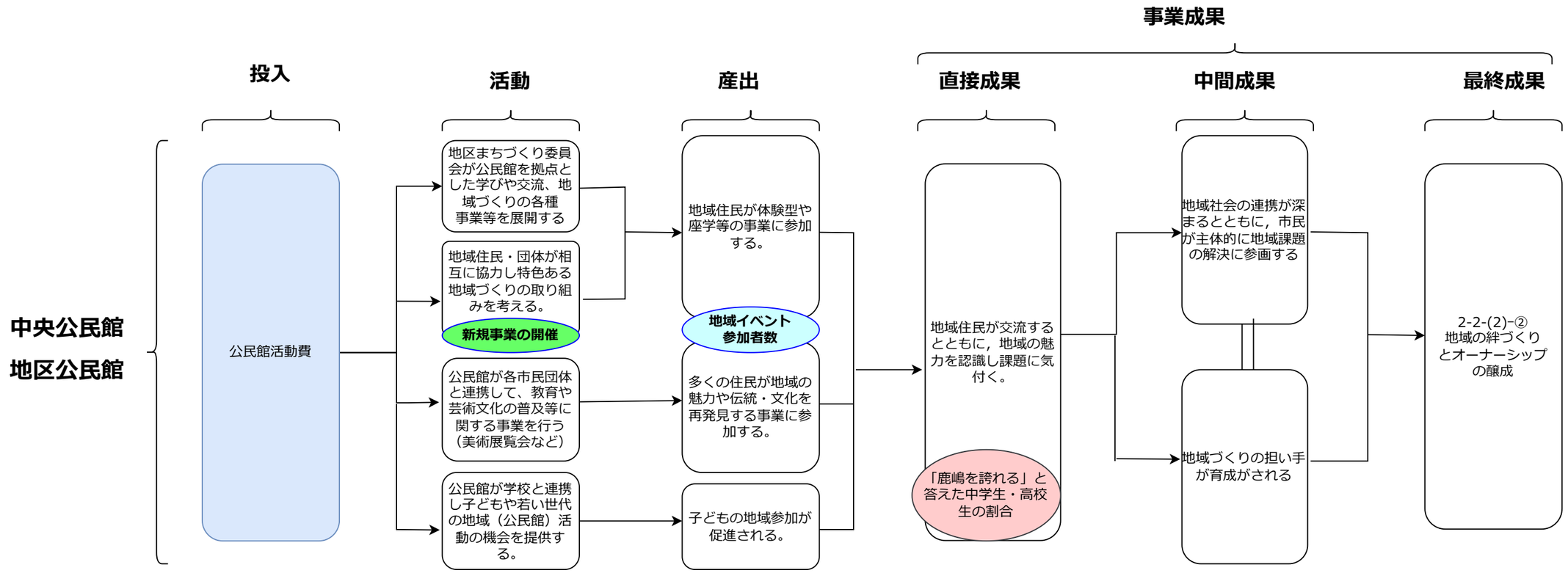
## 施策の方向性　（１）スポーツ活動・交流の推進
## 取組　①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進



| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 成人の週１回以上の<br>スポーツ実施率 | 未計測 | 43%／年 | 65%／年 |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 市立スポーツ施設利用者数 | 210,781人／年 | 309,570人／年 | 400,000人／年 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2026年度） | みんなのスポーツフェスタ参加者<br>平均人数 | 未計測 | 276人／回 | 350人／回 |

## 施策２－２　豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

## 施策の方向性　（２）共に創り育む「鹿嶋文化」
## 取組　②地域の絆づくりとオーナーシップの醸成




| 指標 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現状値　→　目標値 | | 現状値：2021年度末 | 2022年度末 | 目標値 |
| 施策指標<br>（目標年度：2031年度） | 「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合 | 61% | 65% | 70% |
| 事業指標<br>（目標年度：2026年度） | 地域イベント参加者数 | 21,630人／年 | 31,569人／年 | 67,500人／年 |
| モニタリング指標<br>（目標年度：2030年度） | 特色ある地域づくり事業の開催（新規事業の開催） | 1事業 | 3事業 | １０事業 |